

# 景気動向調査結果

(令和4年 10 月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 4 年 10 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 4 年 11 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、438 社（製造業 236 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 202 社）で、回答率は 62.6 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2925）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2961）

# 令和4年10月の景気動向

## 1 総 論

長野県経済は、原油・原材料価格高騰等の影響により厳しい状況が続き、回復に向けた動きに一服感がみられます。先行きについては、これらの影響に加え、原材料の価格高騰の継続や供給不安、円安の進展の長期化等が懸念されます。

製造業の業況は、国内外の需要が堅調に推移している一方、原油・原材料価格の高騰や供給制約の他、円安の進展の影響が顕在化し、電機・電子や自動車部品などで先行き不透明感が依然として強まっていることから、製造業全体では2期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、建設業は資材価格高騰等の影響により前回より悪化したものの、飲食業や宿泊業は観光客や少人数客等の需要回復により改善し、非製造業全体では2期ぶりの改善となりました。

## 2 製 造 業

### (1) 業界の業況

前年同期（令和3年10月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は▲7.8となり、前回調査時（令和4年7月）の▲1.2から6.6ポイント悪化し、2期連続のマイナス水準となりました。

3か月前（令和4年7月）と比較したD Iは▲9.5となり、前回調査時の▲1.2より8.3ポイント悪化し、4期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（令和5年1月）の予想では、D Iは▲14.8となり、3期連続のマイナス水準となりました。

#### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要及び個人の在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターも同様の状況である一方、需要に先行き不透明感が出てきています。半導体関連は、自動車市場向けやPC（スマホ）・サーバ向け、半導体製造装置向けなど幅広い分野で良い状況が続いており、受注、生産が増加しています。抵抗器・コンデンサ等は、車載向けを中心に需要が好調である一方、先行き不透明な状況に直面しつつあります。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体需要（パソコン、タブレット関係）の増加の影響から、国内外ともに、受注・生産に増加がみられるものの、一部で減速感も出ています。建設機械では、国内向け、海外向けともに受注が好調である一方、半導体不足等による部材の供給難により、生産は足踏みが見られます。

ウ 精密では、時計は、一部の機種で持ち直しがみられるものの、受注、生産ともに一服感が見られます。レンズは、光学系や医療用向けで需要が堅調に推移しており、受注、生産が順調に推移しています。圧力計は、半導体・建設機械業界からの需要が引き続き好調のため、受注、生産が伸びています。LP ガスメーターは、ガス用 IoT 関連機器が牽引し、受注、生産は持ち直しが見られます。

エ 自動車部品では、半導体不足等に起因する完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みが見られます。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が増加しています。酒類は、清酒やワインは、「全国旅行支援」等の効果により、受注、生産に持ち直しがみられます。飲料は、菓ごもり需要の下支え等により、受注、生産に持ち直しがみられます。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が 29.0%と前回 (33.9%) より減少し、「減少」とする企業が 30.7%と前回 (28.8%) より増加した結果、D Iは前回 (5.1) より悪化し、 $\Delta 1.7$ となりました。

3ヵ月との比較では、「増加」とする企業が 19.4%と前回 (20.3%) より減少し、「減少」とする企業が 28.0%と前回 (21.9%) より増加した結果、D Iは前回 ( $\Delta 1.6$ ) より悪化し、 $\Delta 8.6$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業は 11.4%、「減少」とする企業が 26.6%となった結果、D Iは $\Delta 15.2$ となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が 32.5%と前回 (34.9%) より減少し、「減少」とする企業が 32.9%と前回 (31.9%) より増加した結果、D Iは前回 (3.0) より悪化し、 $\Delta 0.4$ となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が 28.0%と前回 (21.2%) より増加し、「減少」とする企業が 28.9%と前回 (27.5%) より増加した結果、D Iは前回 ( $\Delta 6.3$ ) より改善し、 $\Delta 0.9$ となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が 16.4%、「減少」とする企業が 28.8%となった結果、D Iは $\Delta 12.4$ となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が 53.9%と前回 (40.9%) より増加し、「安い」とする企業が 5.6%と前回 (4.7%) よりやや増加した結果、D Iは前回 (36.2) より改善し、48.3となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が 31.8%と前回 (24.7%) より増加し、「安い」とする企業が 3.9%と前回 (2.6%) より増加した結果、D Iは前回 (22.1) より改善し、27.9となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が 19.7%、「安い」とする企業が 4.8%となった結果、D Iは14.9となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が 8.1%と前回 (11.0%) より減少し、「苦しい」とする企業が 18.6%と前回 (12.7%) より増加した結果、D Iは前回 ( $\Delta 1.7$ ) よりやや悪化し、 $\Delta 10.5$ となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が 5.4%と前回 (6.6%) より減少し、「苦しい」とする企業が 15.3%と前回 (11.8%) より増加した結果、D Iは前回 ( $\Delta 5.2$ ) より悪化し、 $\Delta 9.9$ となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が 5.5%、「苦しい」とする企業が 16.4%となった結果、D Iは $\Delta 10.9$ となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が 14.3%と前回 (18.7%) より減少し、「低下」とする企業が 56.7%と前回 (44.3%) より増加した結果、D Iは前回 ( $\Delta 25.6$ ) より悪化し、 $\Delta 42.4$ となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が 8.6%と前回 (11.9%) より減少し、「低下」とする企業が 41.4%と前回 (37.3%) より増加した結果、D Iは前回 ( $\Delta 25.4$ ) より悪化し、 $\Delta 32.8$ となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が 3.5%、「低下」とする企業が 38.0%となった結果、D Iは $\Delta 34.5$ となりました。

## (7)製造業の業種別動向

### 電 機 ・ 電 子

(コンピュータ・情報機器) 法人向け需要及び個人の在宅需要が牽引し、受注、生産が堅調に推移しています。プリンターも同様の状況である一方、需要に先行き不透明感が出てきています。

(半導体関連・プリント基板) 自動車市場向けや PC (スマホ)・サーバ向け、半導体製造装置向けなど幅広い分野で良い状況が続いており、受注、生産が増加しています。

(抵抗器・コンデンサ等) 車載向けを中心に需要が好調である一方、先行き不透明な状況に直面しつつあります。

(モーター等) 産業用ロボットや自動機器関連は引き続き好調なものの、部品の供給不足や自動車の生産調整等により先行き不透明な状況に直面しつつあります。

(そ の 他) 公共インフラ等は横ばいが続く一方、車載製品(カーナビやカーオーディオ)については堅調に推移しています。

### 一 般 機 械

(工 作 機 械) 半導体需要(パソコン、タブレット関係)の増加の影響から、国内外ともに、受注、生産に増加がみられるものの、一部で減速感も出ています。

(金 型) 産業用機械は好調である一方、自動車関係は伸び悩んでおり、全体的には受注、生産に一服感がみられます。

(建 設 機 械) 国内向け、海外向けともに受注が好調であるが、半導体不足等による部材の供給難により、生産は足踏みがみられます。

(農業用機械等) 受注・販売量に大きな動きはなく、堅調に推移しています。

精 密 (時 計)	一部の機種で持ち直しがみられますが、受注、生産ともに一服感がみられます。
(レ ン ズ)	光学系や医療用向けで需要が堅調に推移しており、受注、生産が順調に推移しています。
(計 器)	圧力計は、半導体・建設機械業界からの需要が引き続き好調のため、受注、生産が伸びています。LP ガスメーターは、ガス用 IoT 関連機器が牽引し、受注、生産は持ち直しがみられます。
自 動 車 部 品	半導体不足等に起因する完成車メーカーの減産により、国内向け、海外向けともに、受注、生産に足踏みがみられます。
食 料 品	
(味 そ)	季節的要因により、3 か月前と比べ受注、生産が増加しています。
(酒 類)	清酒やワインは、全国旅行支援等の効果により、受注、生産は持ち直しがみられます。
(飲 料)	巣ごもり需要の下支え等により、受注、生産に持ち直しがみられます。
繊 維 ・ 衣 服	季節的要因により、受注、生産に持ち直しがみられます。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が持ち直しています。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、産業用機械が牽引しているものの、その他で一服感がみられます。

### 3 非製造業

#### 業界の業況

前年同期（令和3年10月）と比較した業況D Iは0.5となり、前回調査時（令和4年7月）の△7.9より8.4ポイント改善しました。

3か月前（令和4年7月）と比較した業況D Iは1.1となり、前回調査時の△15.4より16.5ポイント改善しました。

また、3か月後（令和5年1月）の予想では、業況D Iは△29.2となりました。

#### 【主な業種の動き】

##### ア 建設業

建設業では、資材価格高騰や人手不足等の影響で、前回調査に比べ受注件数D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは△46.9と前回（△32.4）より悪化し、更なる悪化に転じました。

3か月後の業況D Iは、△34.5です。

##### イ 情報サービス業

情報サービス業では、ソフトウェア開発事業やシステム改修事業が堅調に推移したことで、客数（受注件数）D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは11.1と前回（△8.4）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△25.0です。

##### ウ 小売業

小売業では、仕入価格上昇に対して一部の商品で価格転嫁が進んだことで販売価格D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは△16.3と前回（△21.6）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△21.9です。

##### エ 卸売業

卸売業では、半導体不足による工業製品の入荷遅れが一部で緩和するなど、客数（取引先数）D I、売上高D Iが改善し、業況D Iは5.6と前回（0.0）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△35.3です。

##### オ 飲食業

飲食業では、観光客や少人数利用客などの需要増加で客数D Iが改善したほか、仕入価格上昇に対して一部で価格転嫁が行われるなどし、販売価格D Iが改善したことから、業況D Iは69.6と前回（37.5）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△30.0です。

##### カ 宿泊業

宿泊業では、「全国旅行支援」による割引効果などで、客数D I、売上高D Iが改善したことから、業況D Iは93.8と前回（69.2）より改善しました。

3か月後の業況D Iは、△60.0です。

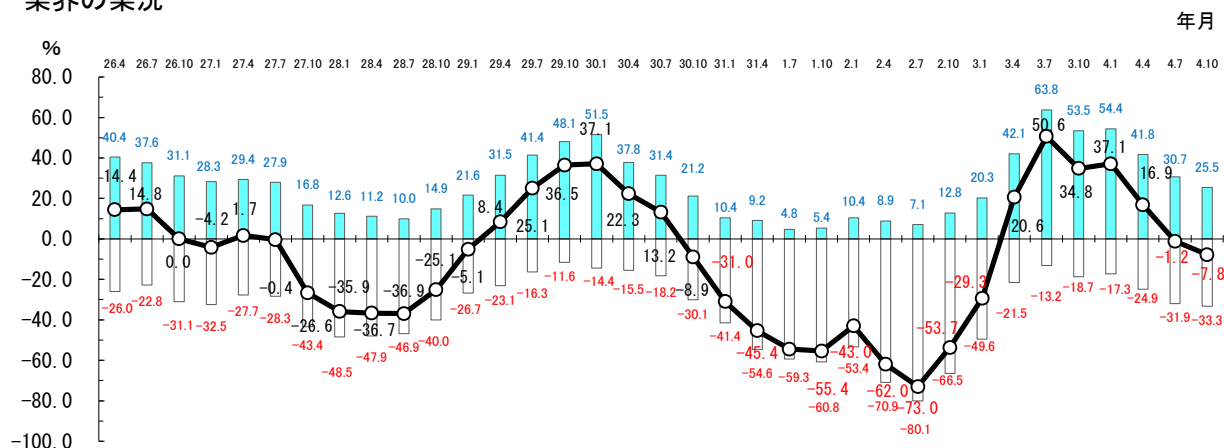
# 景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。  
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

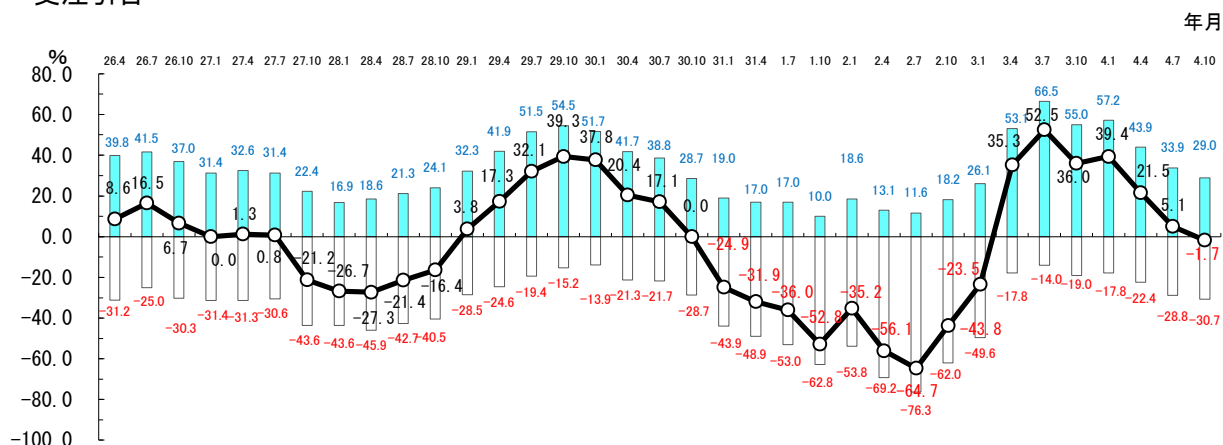
## 1 製造業

### （１）前年同期に比べて

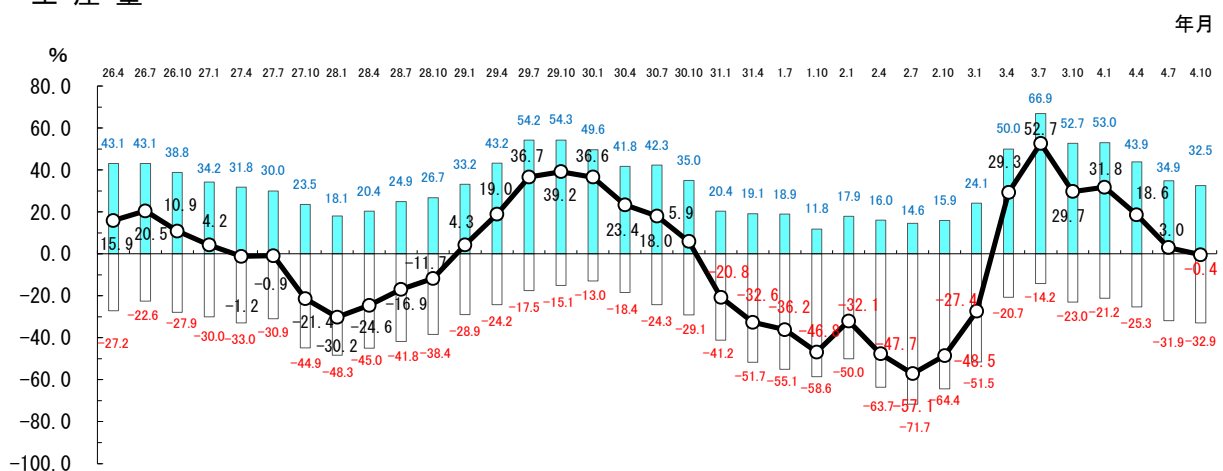
#### 業界の業況



#### 受注引合

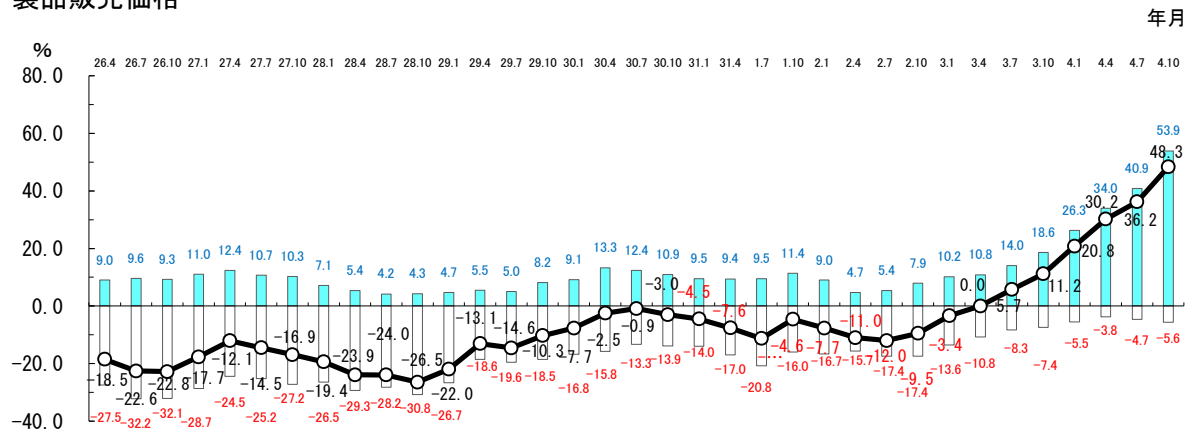


#### 生産量

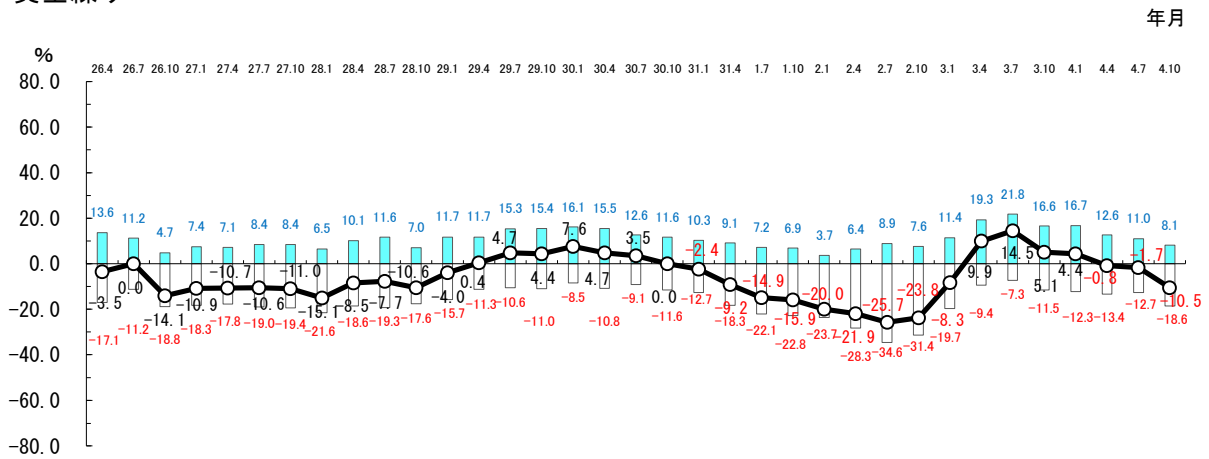




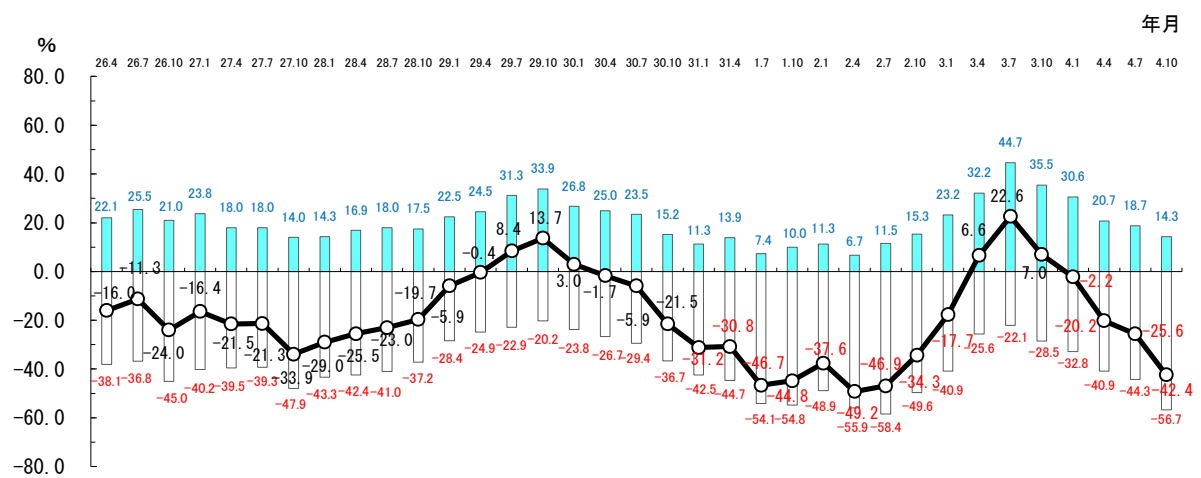
## 製品販売価格



## 資金繰り

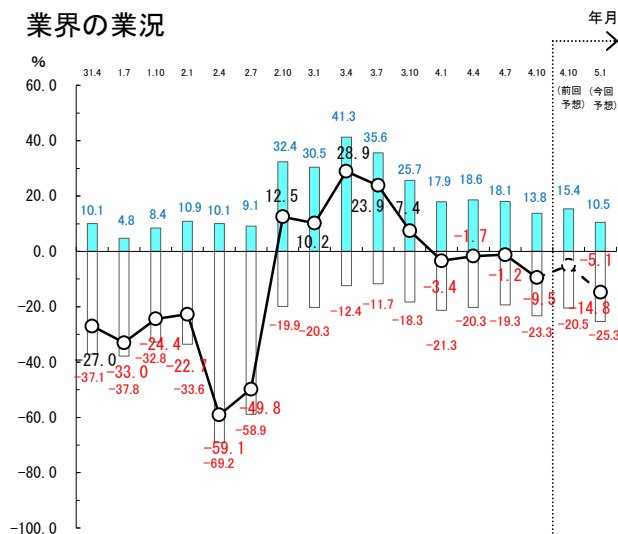


## 収益率

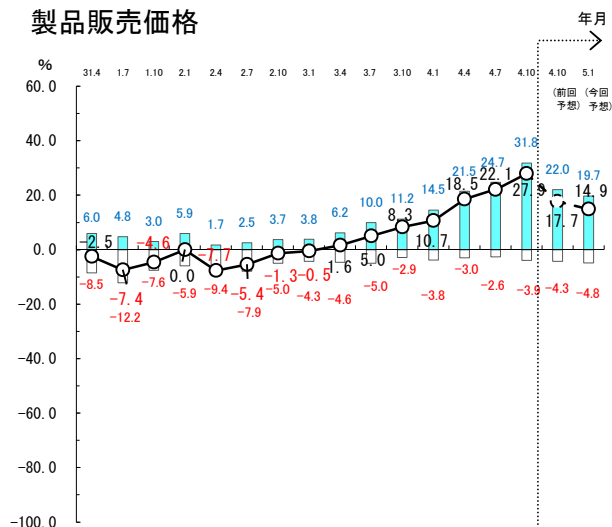


## (2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

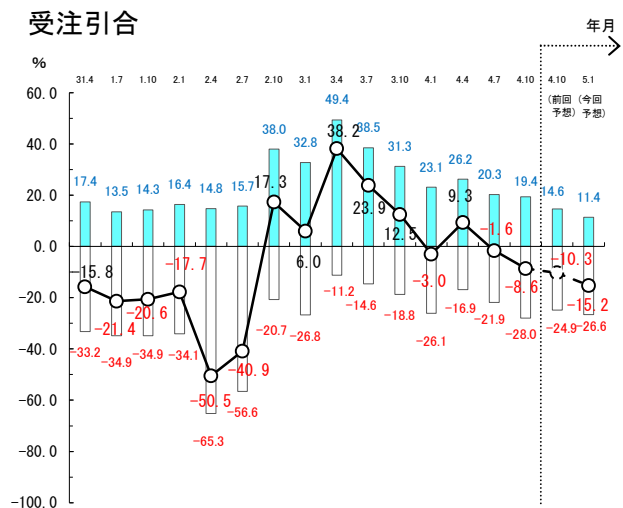
### 業界の業況



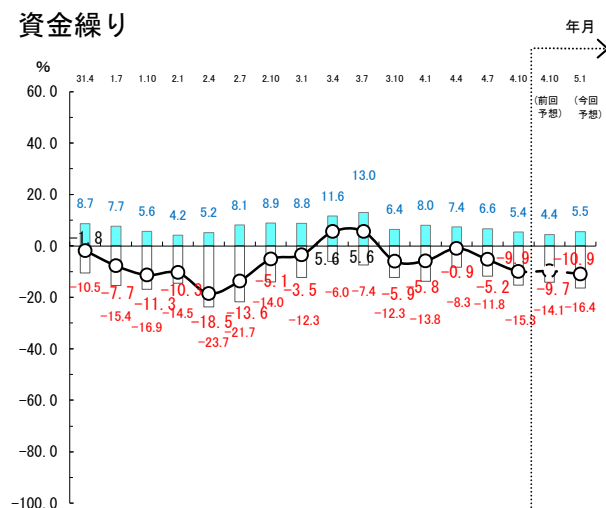
### 製品販売価格



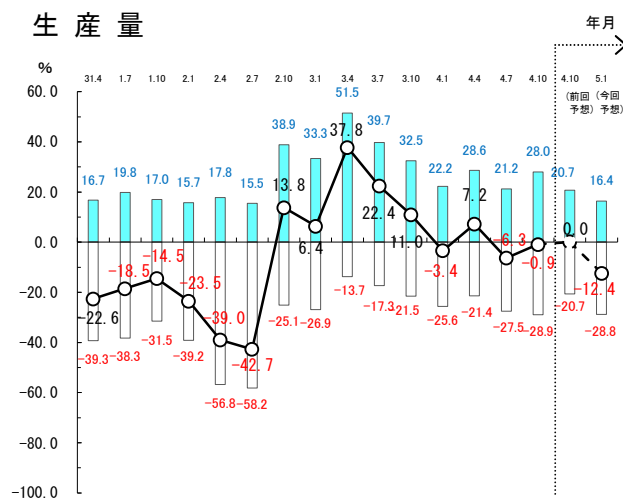
### 受注引合



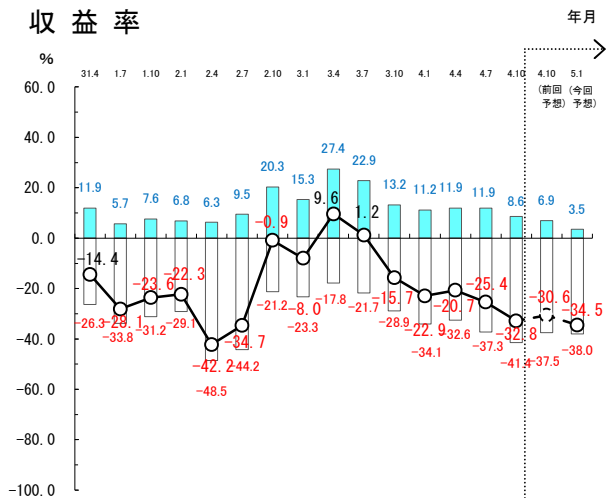
### 資金繰り



### 生産量



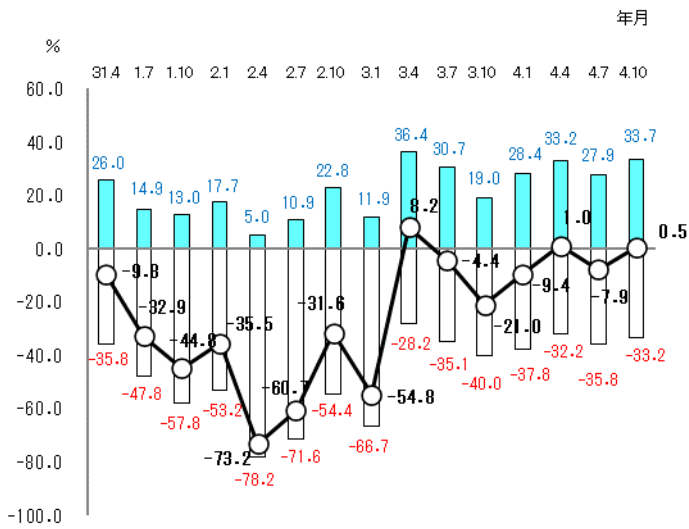
### 収益率



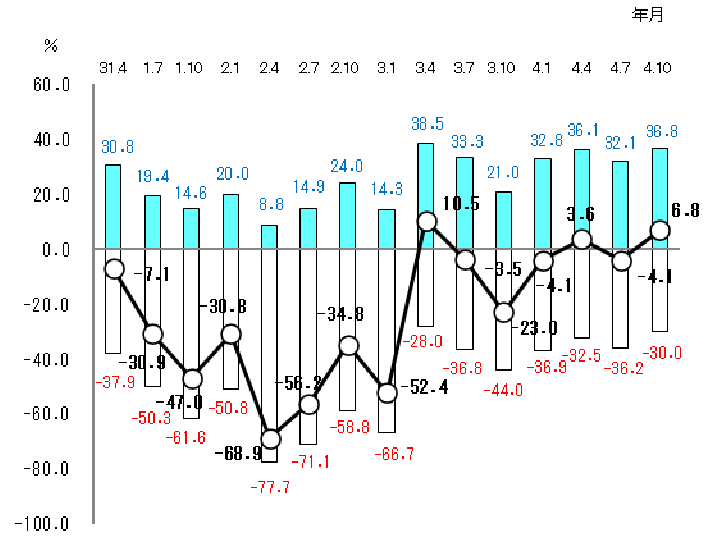
## 2 非製造業

### (1) 前年同期に比べて

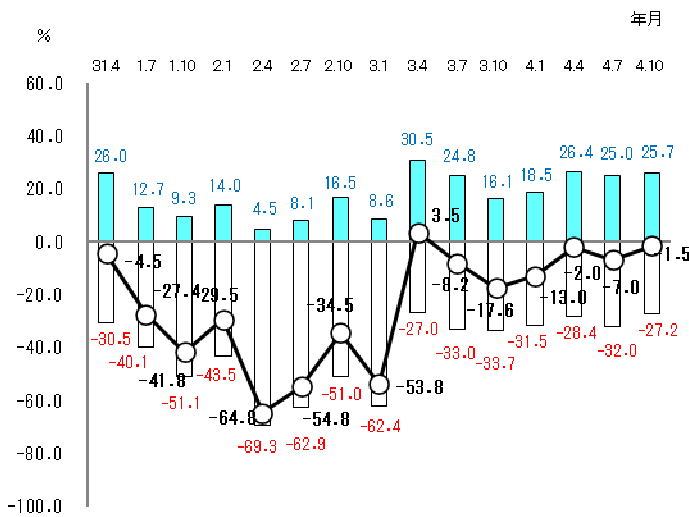
#### 業況



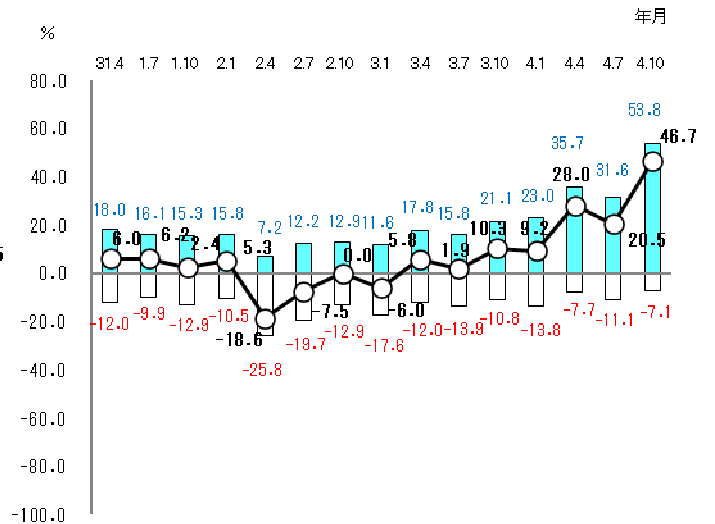
#### 売上高



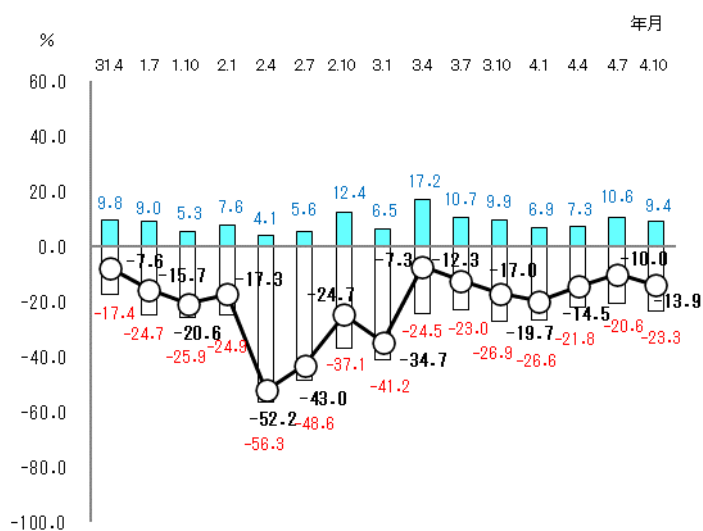
#### 客数 (受注件数・取引先数)



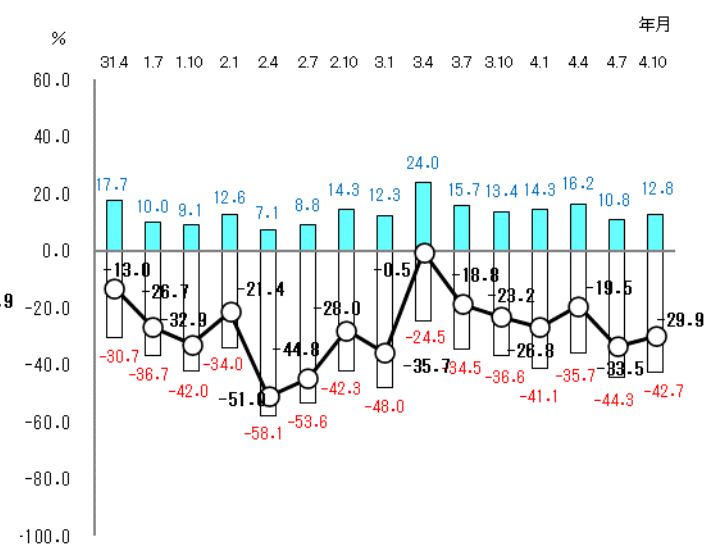
#### 販売価格



#### 資金繰り

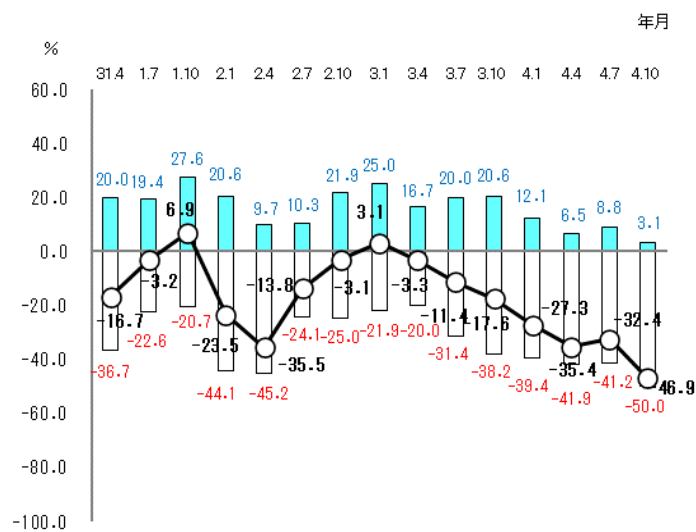


#### 収益率

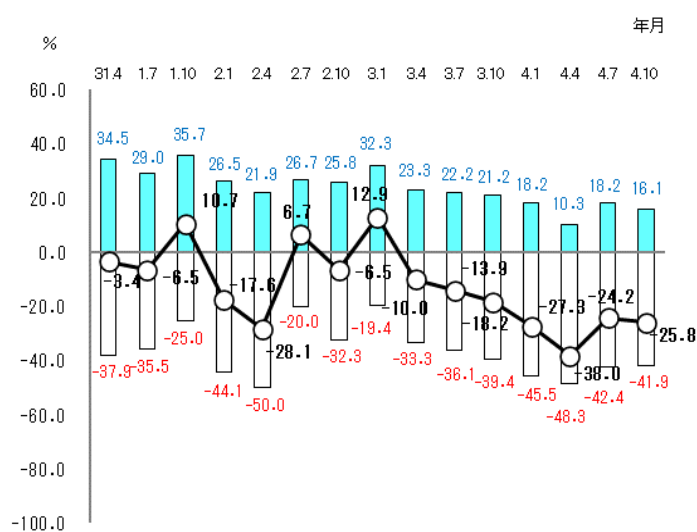


## ア 建設業

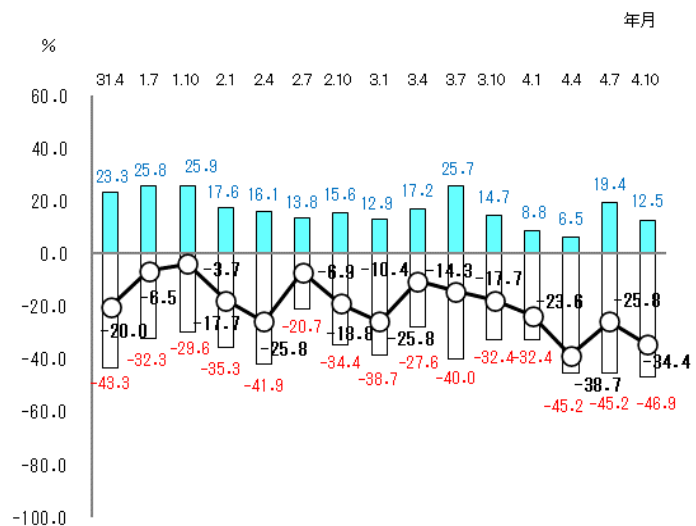
### 業況



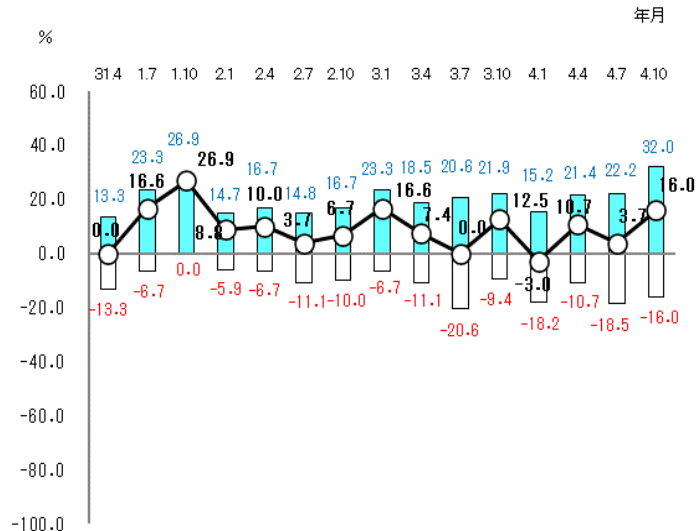
### 売上高



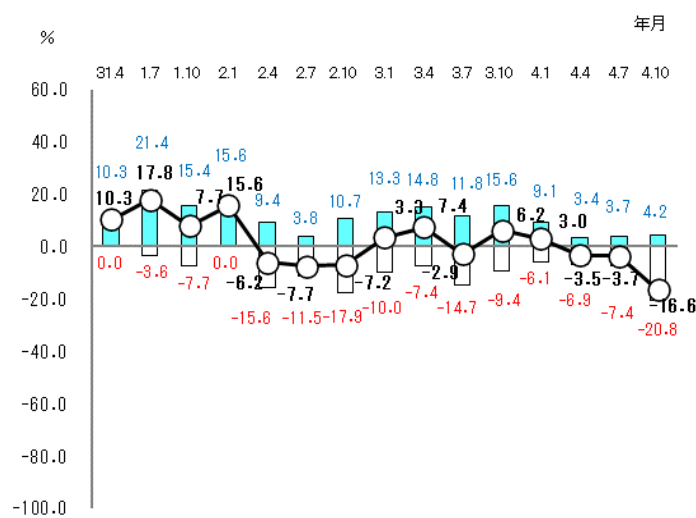
### 客数（受注件数）



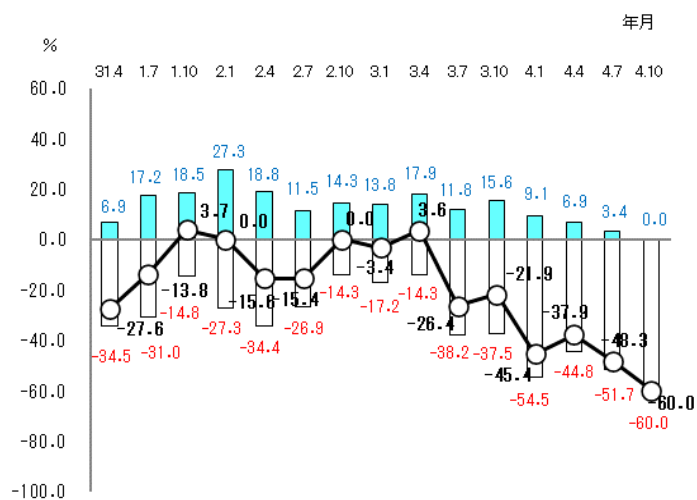
### 販売価格



### 資金繰り

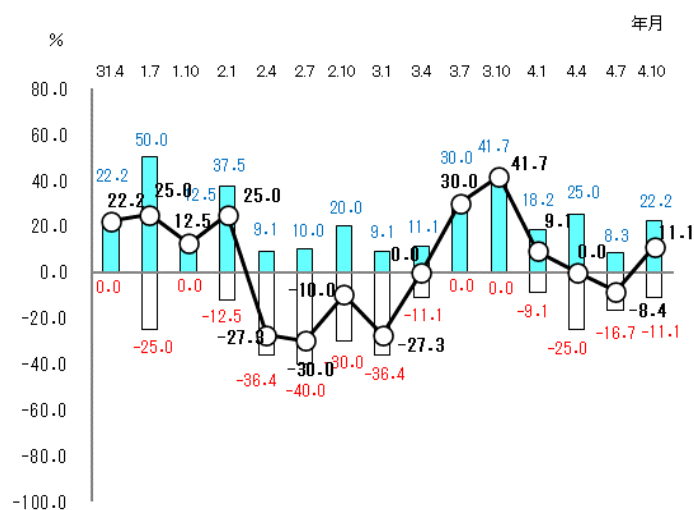


### 収益率

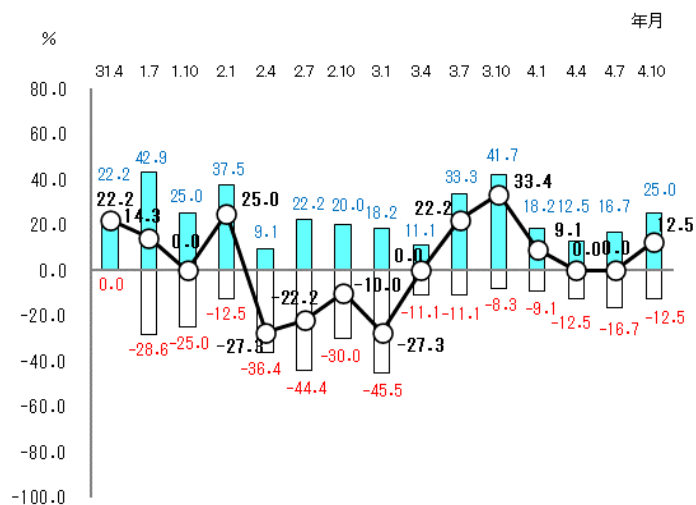


## イ 情報サービス業

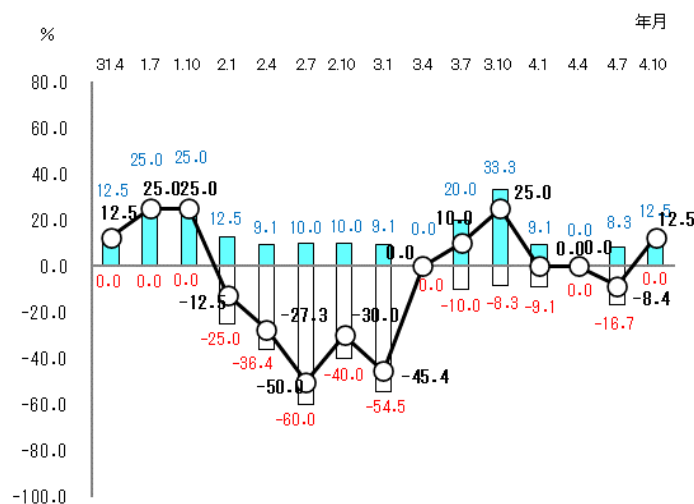
### 業況



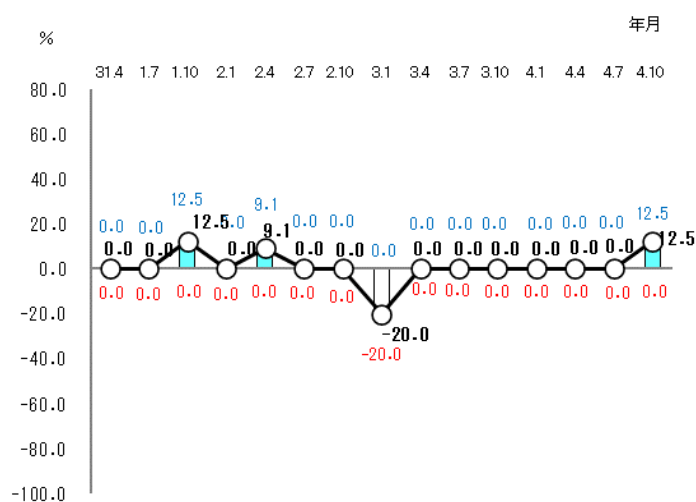
### 売上高



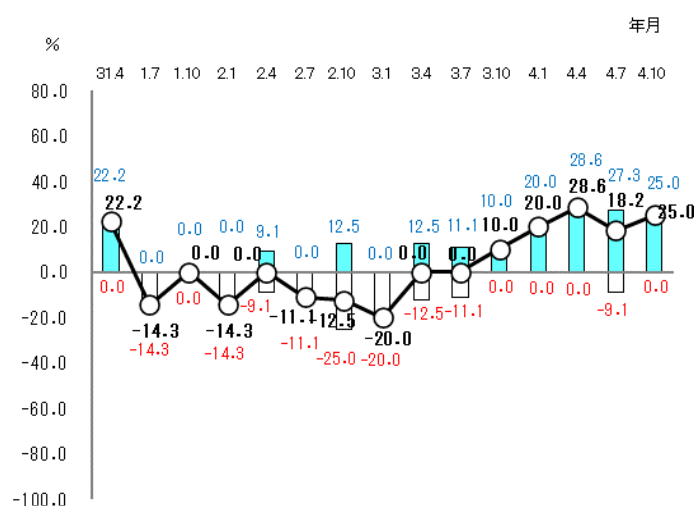
### 客数 (受注件数)



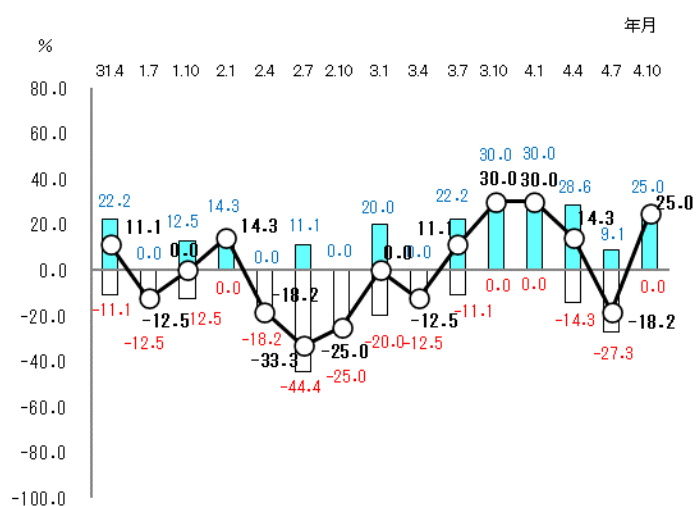
### 販売価格



### 資金繰り

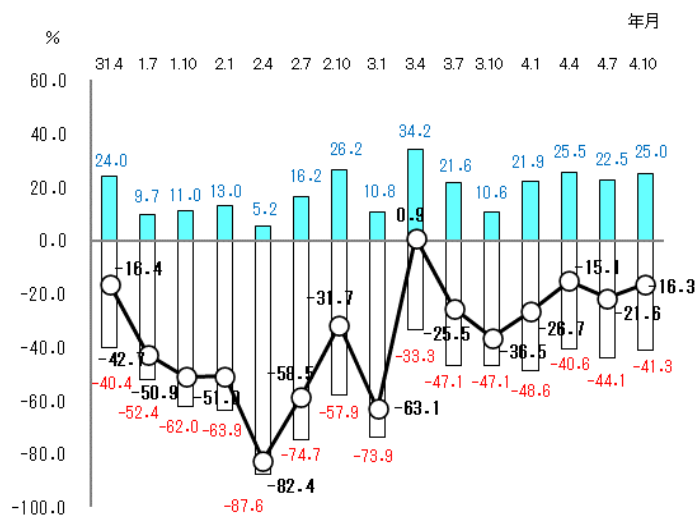


### 収益率

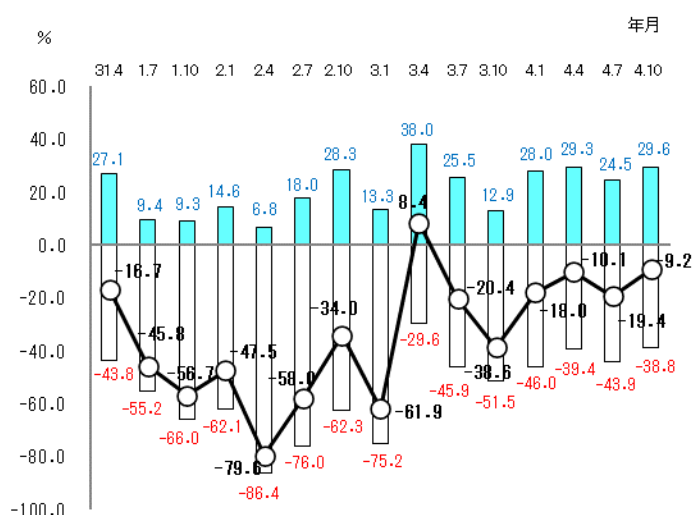


## ウ 小売業

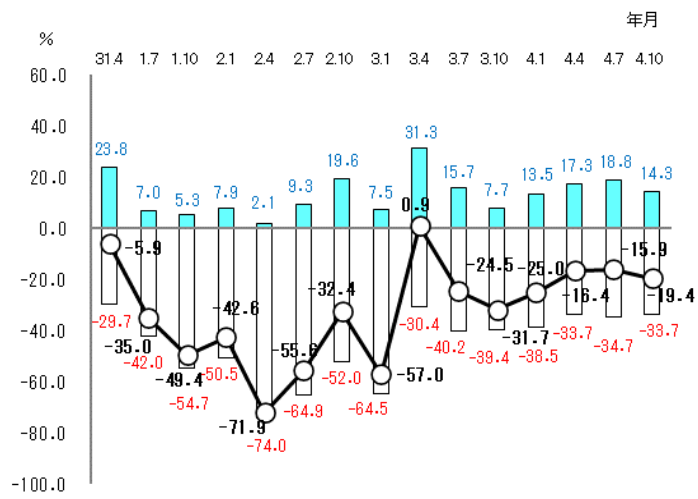
### 業況



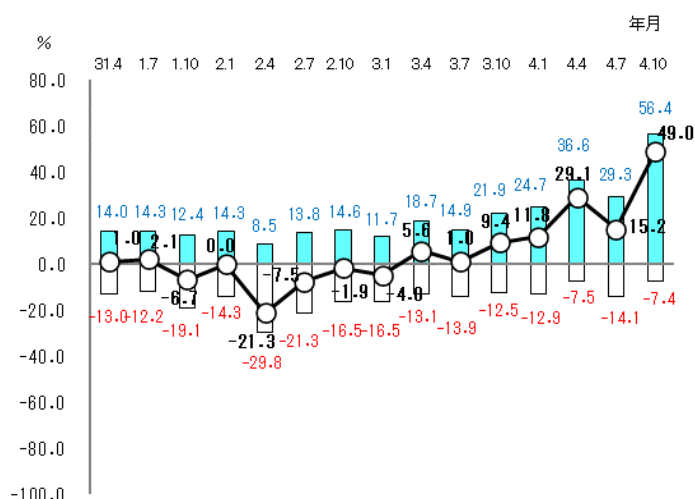
### 売上高



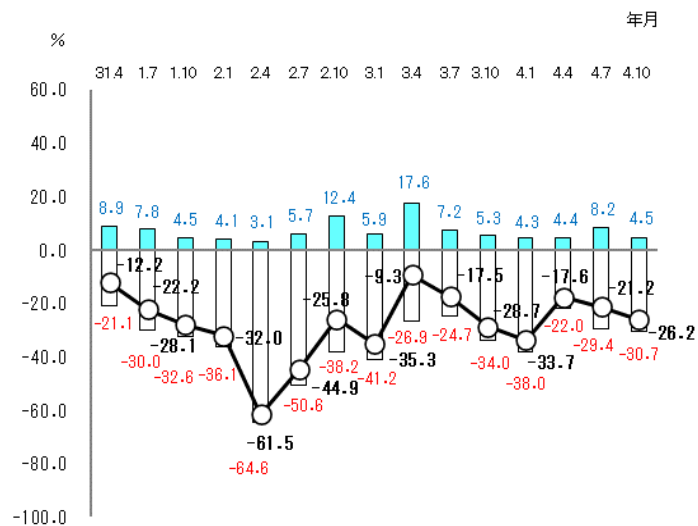
### 客数



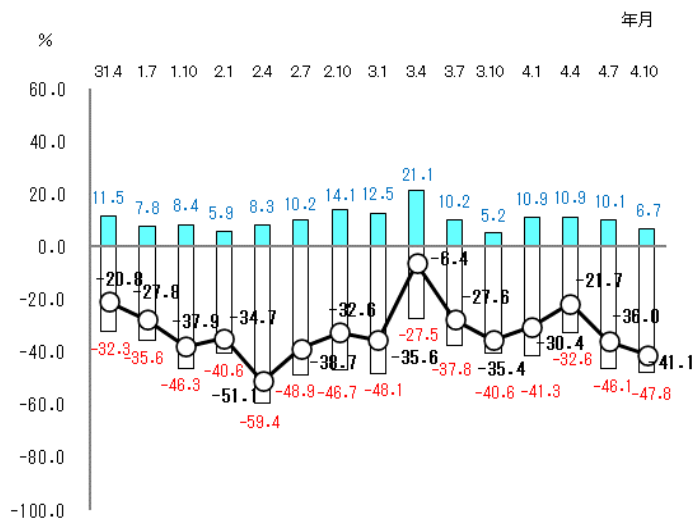
### 販売価格



### 資金繰り

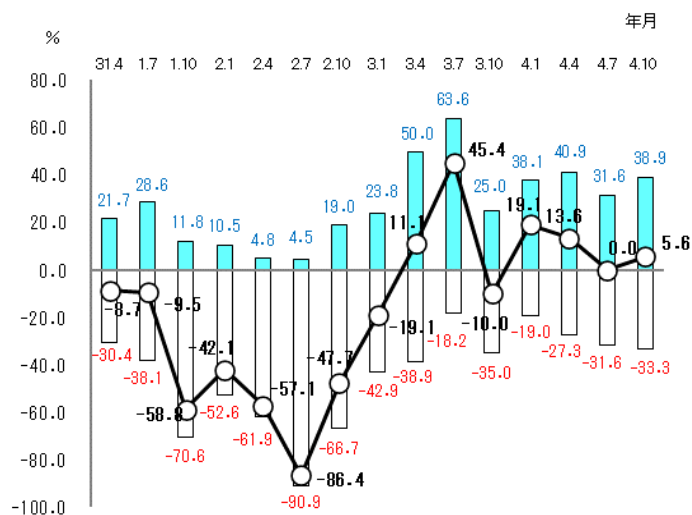


### 収益率

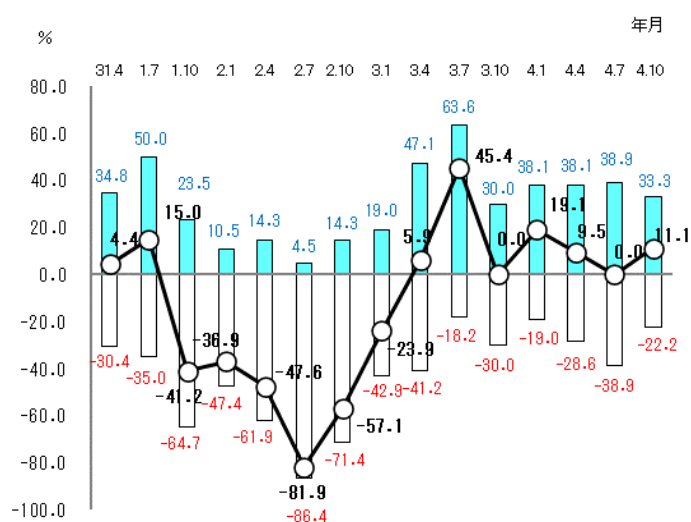


## 工 卸売業

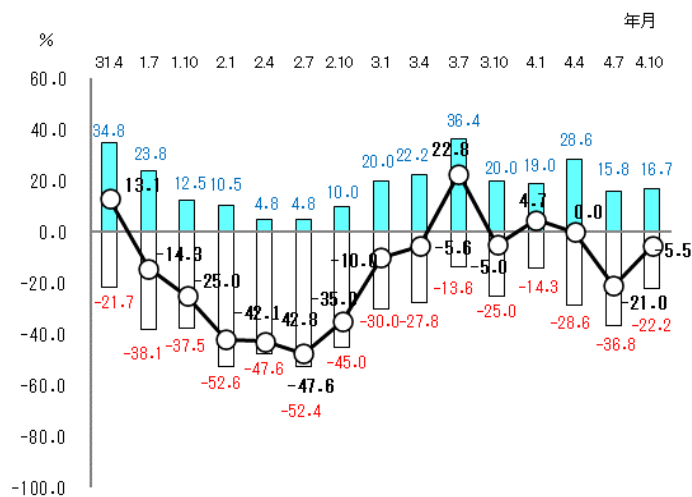
### 業況



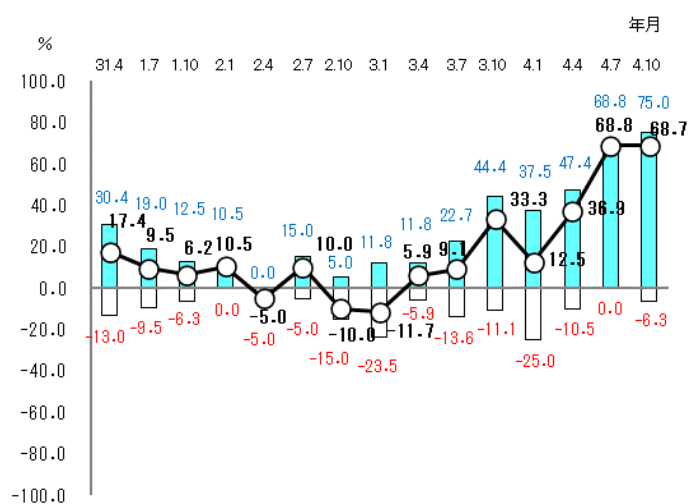
### 売上高



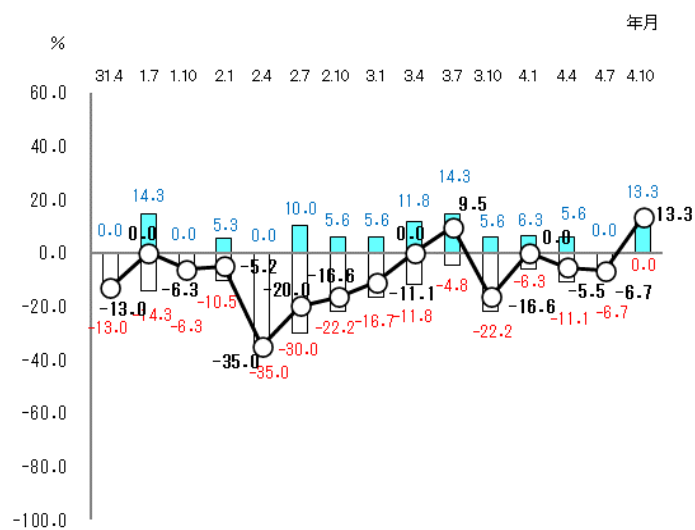
### 客数 (取引先数)



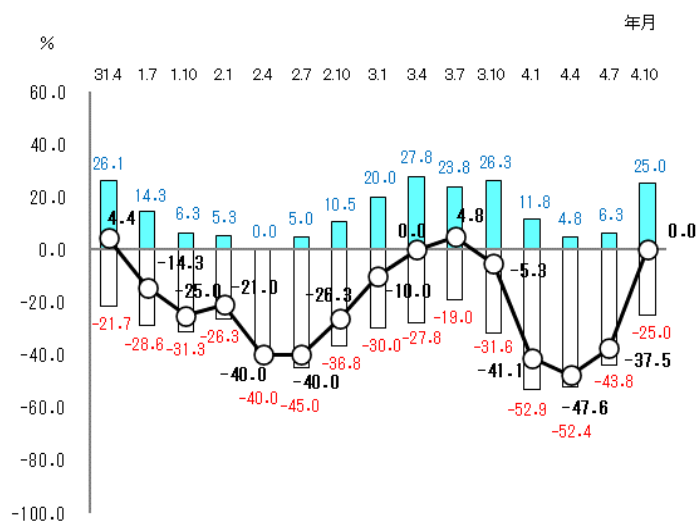
### 販売価格



### 資金繰り

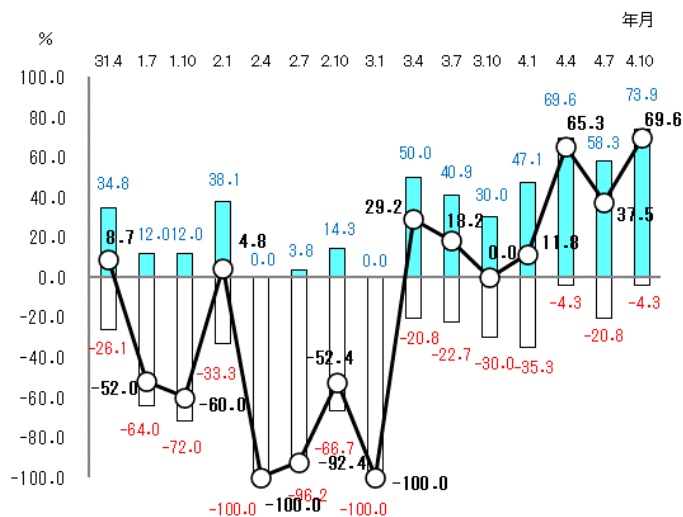


### 収益率

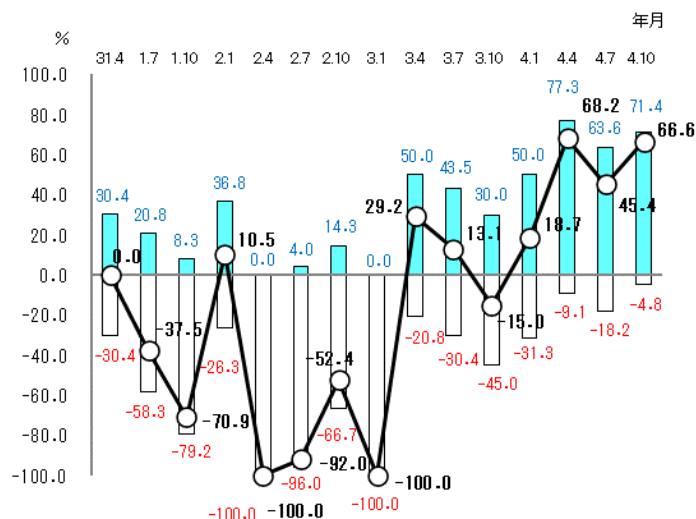


# 才 飲食業

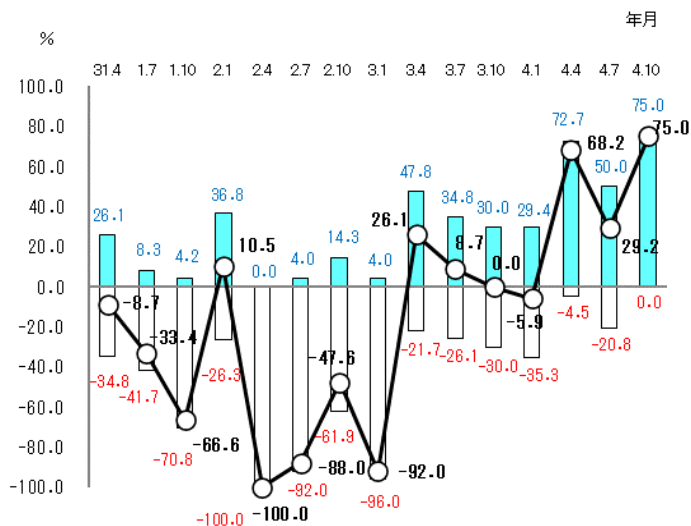
## 業況



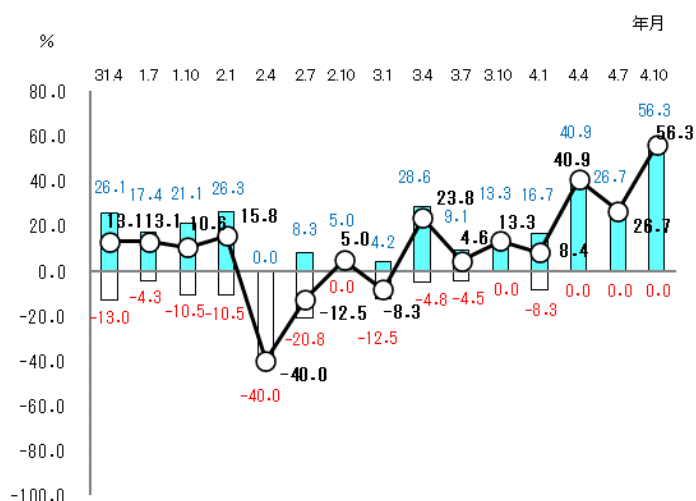
## 売上高



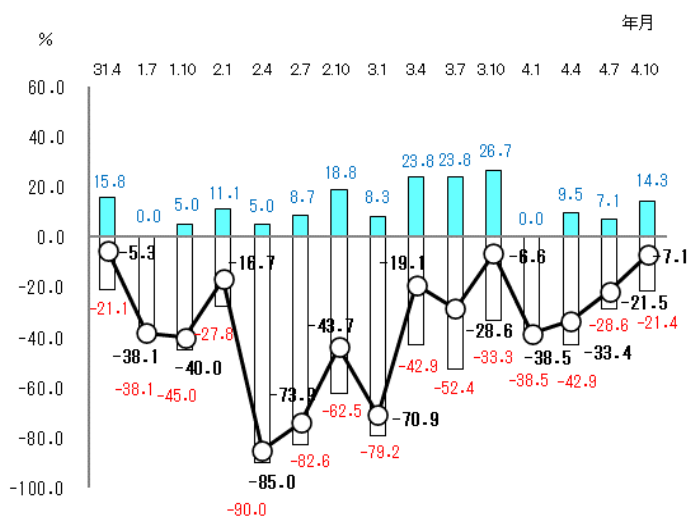
## 客数



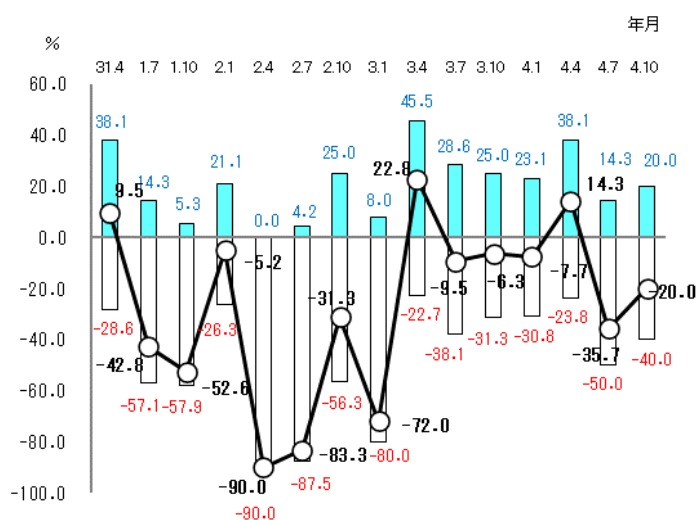
## 販売価格



## 資金繰り



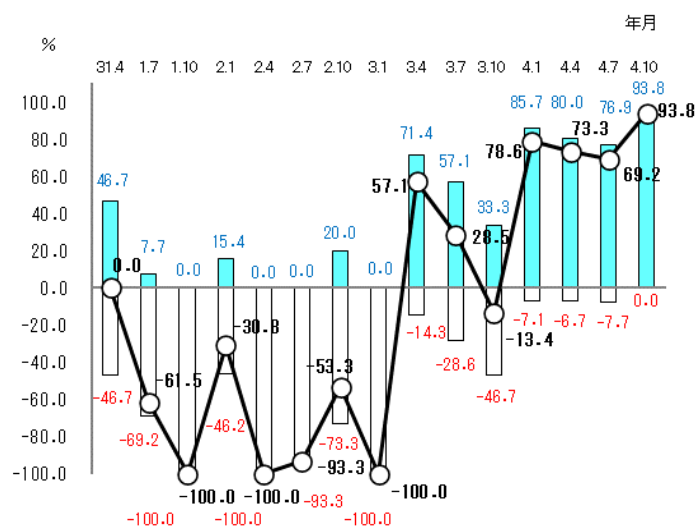
## 収益率



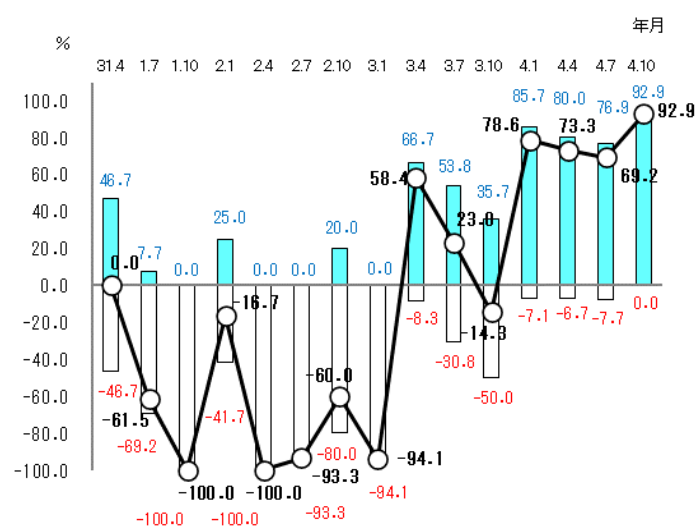


# 力 宿泊業

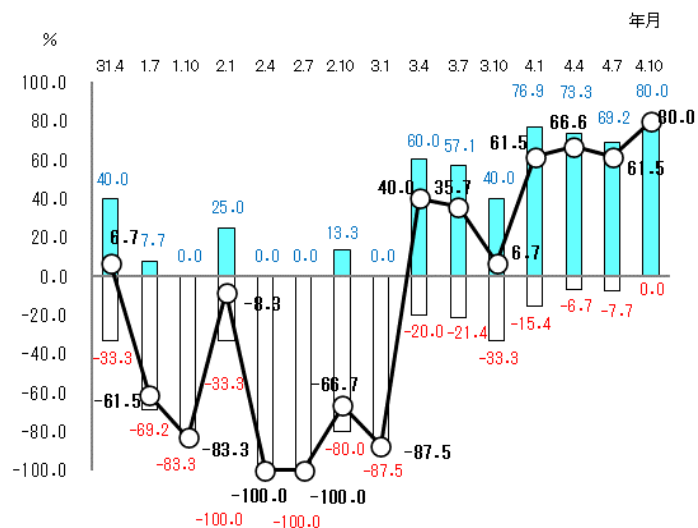
## 業況



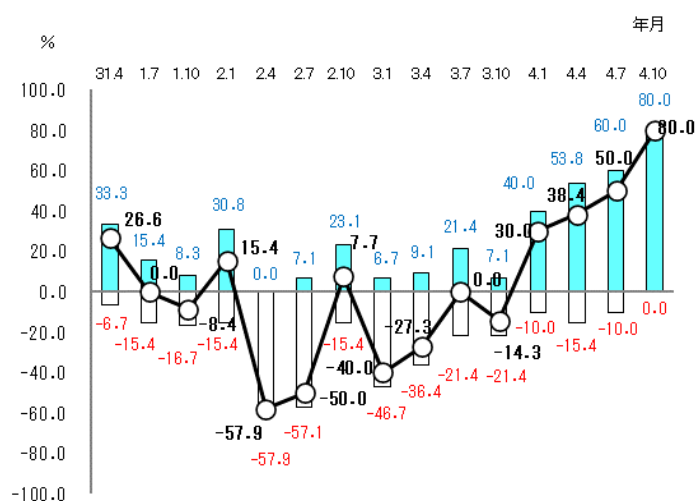
## 売上高



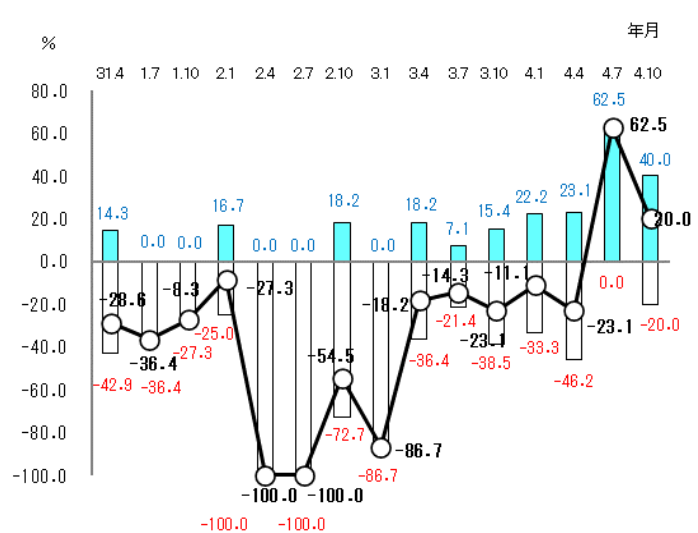
## 客数



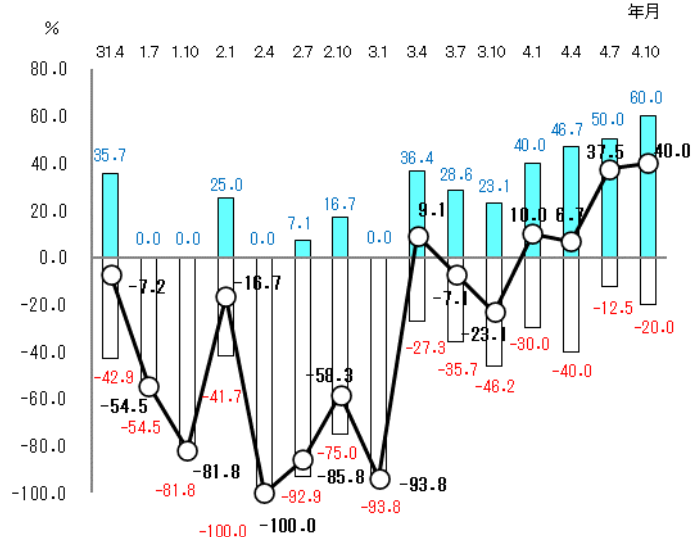
## 販売価格



## 資金繰り



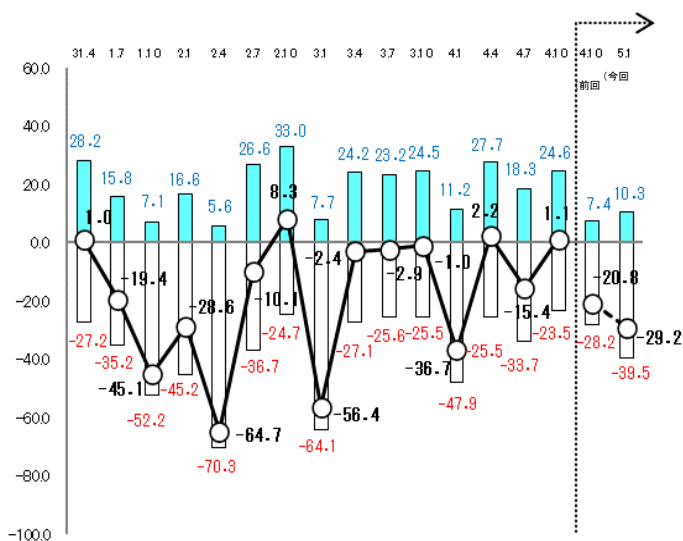
## 収益率



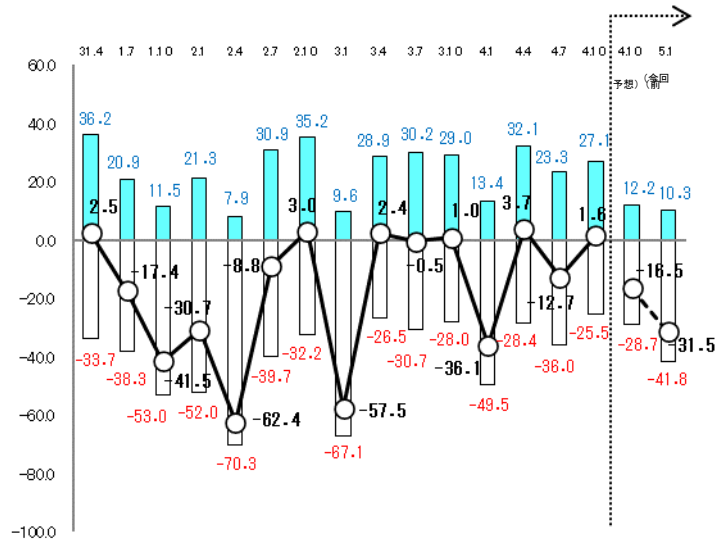
## (2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

### 非製造業全体

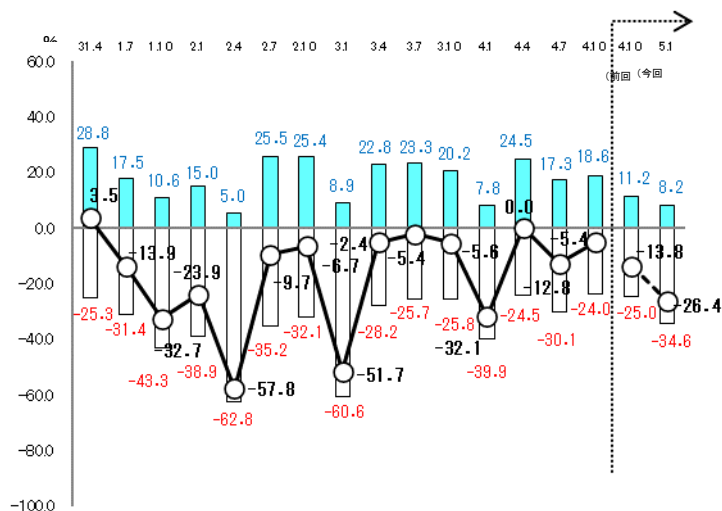
#### 業況



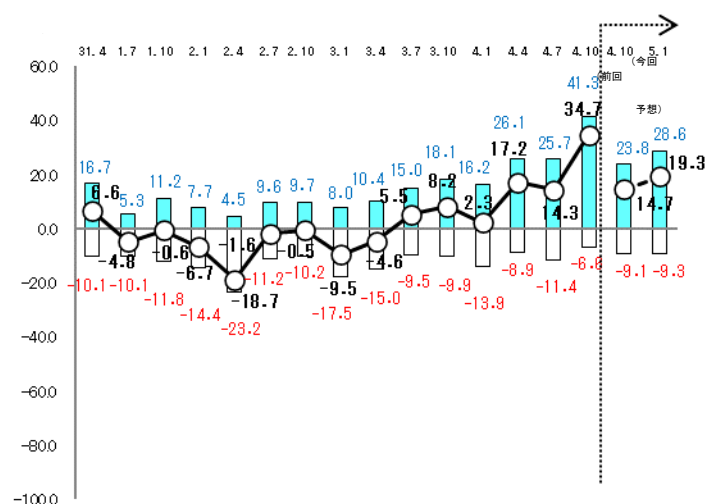
#### 売上高



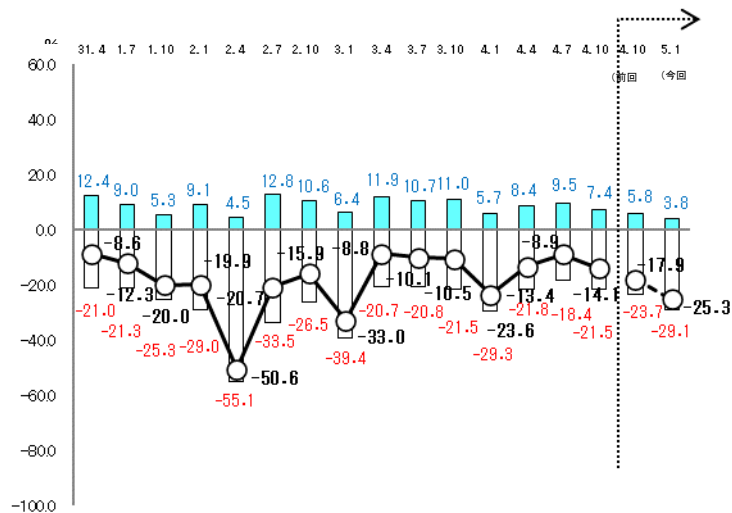
#### 客数 (受注件数・取引先数)



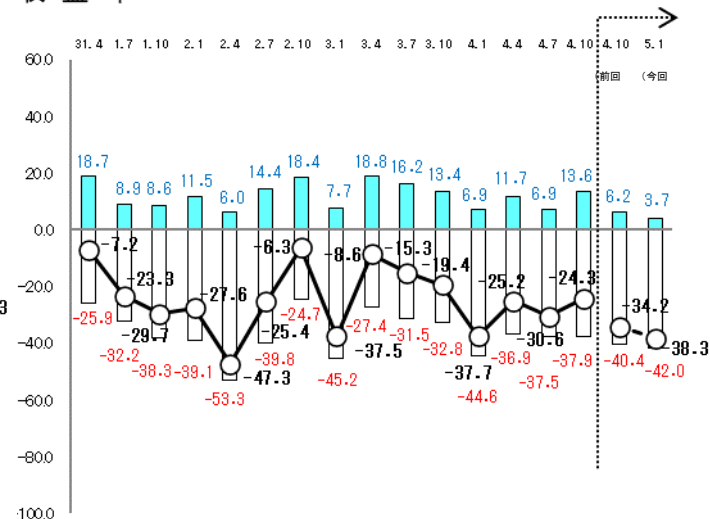
#### 販売価格



#### 資金繰り

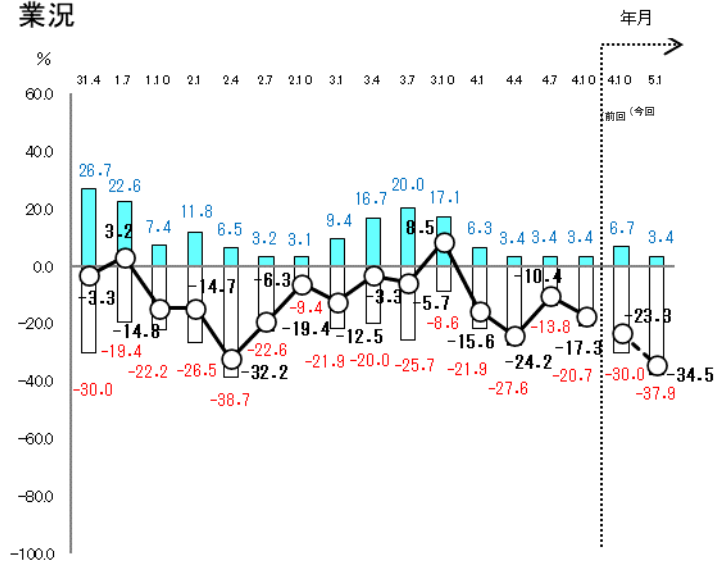


#### 収益率

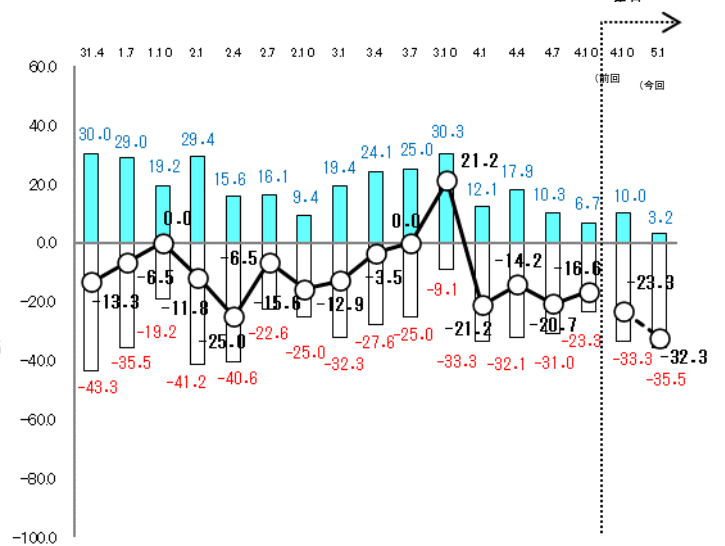


## ア 建設業

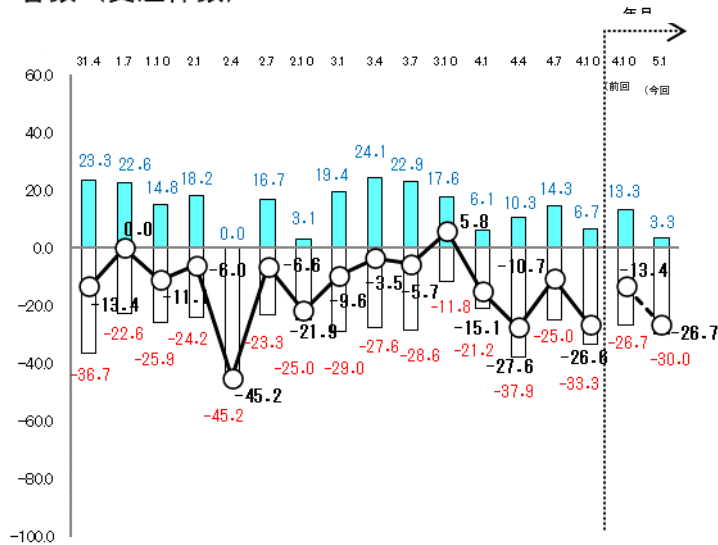
### 業況



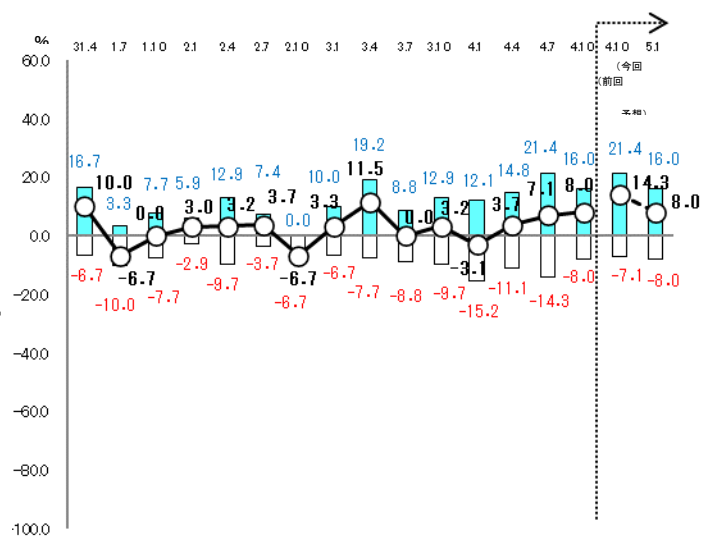
### 売上高



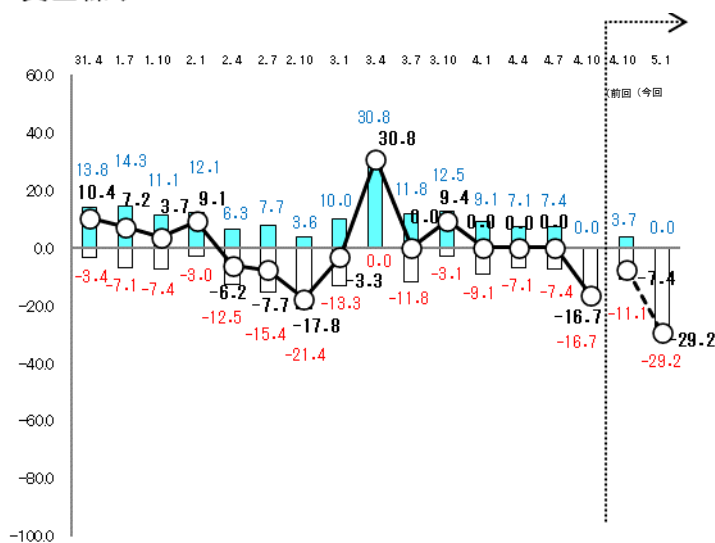
### 客数 (受注件数)



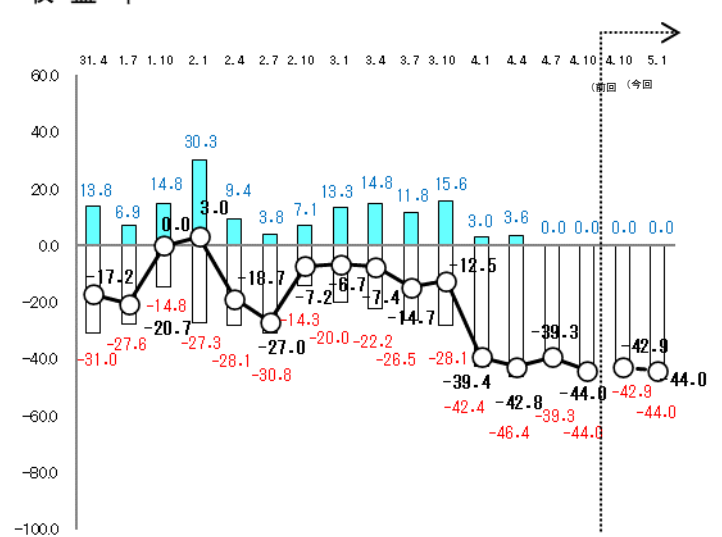
### 販売価格



### 資金繰り

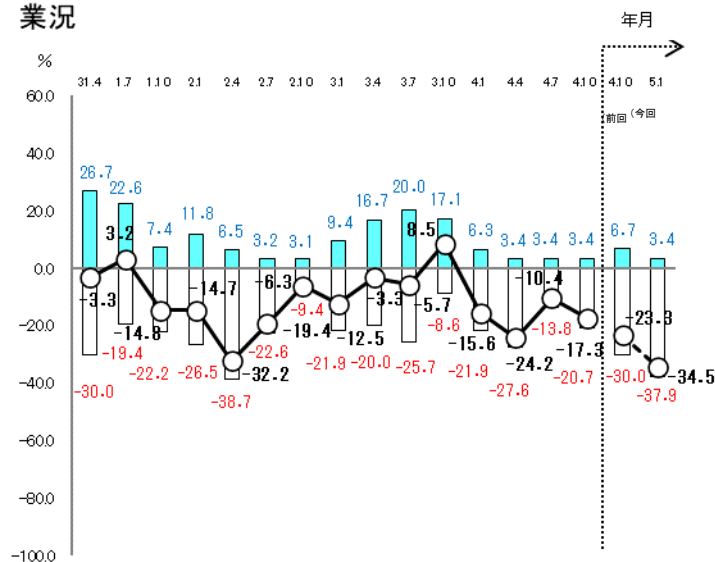


### 収益率

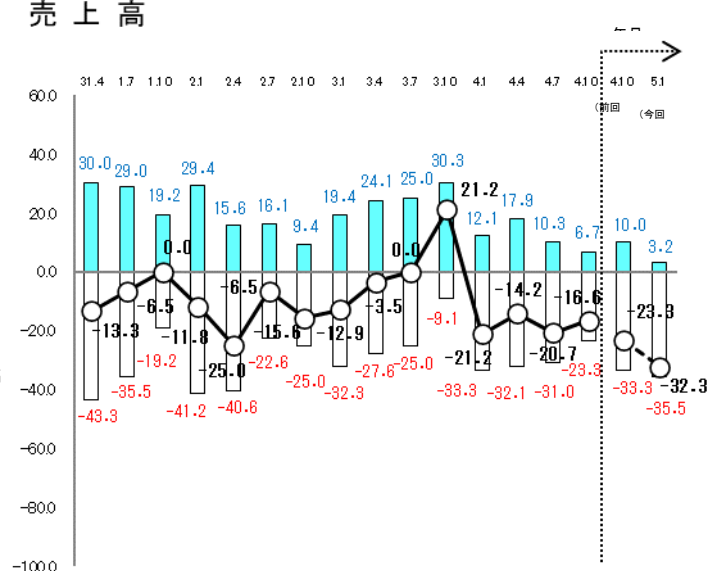


## イ 情報サービス業

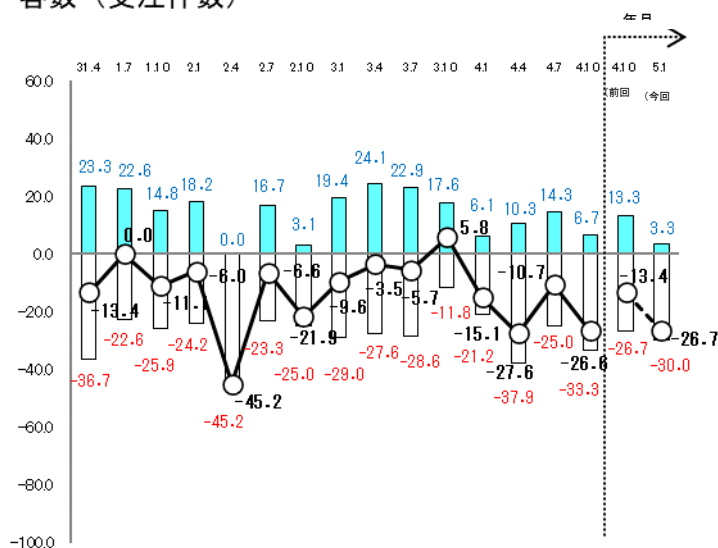
### 業況



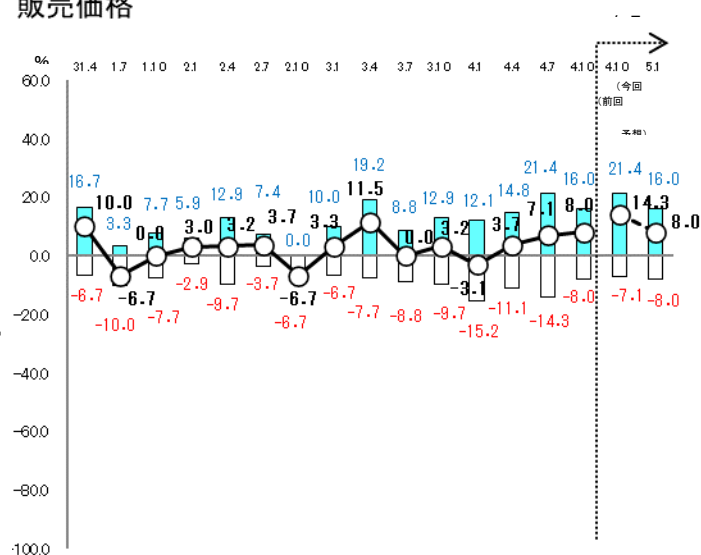
### 売上高



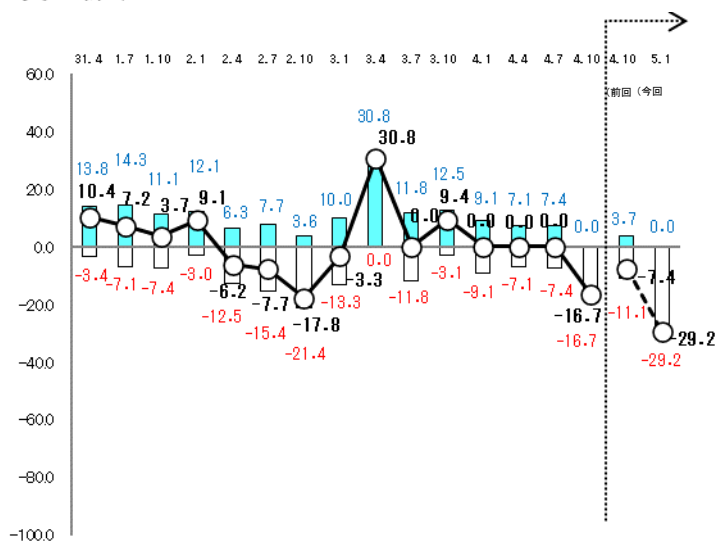
### 客数 (受注件数)



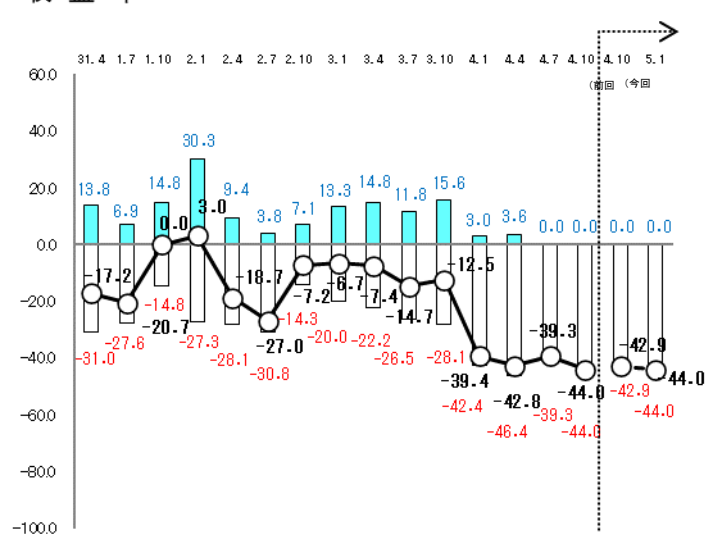
### 販売価格



### 資金繰り

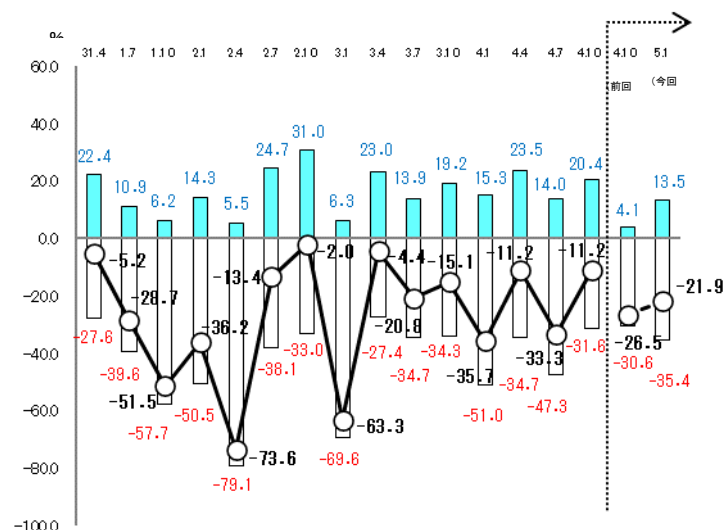


### 収益率

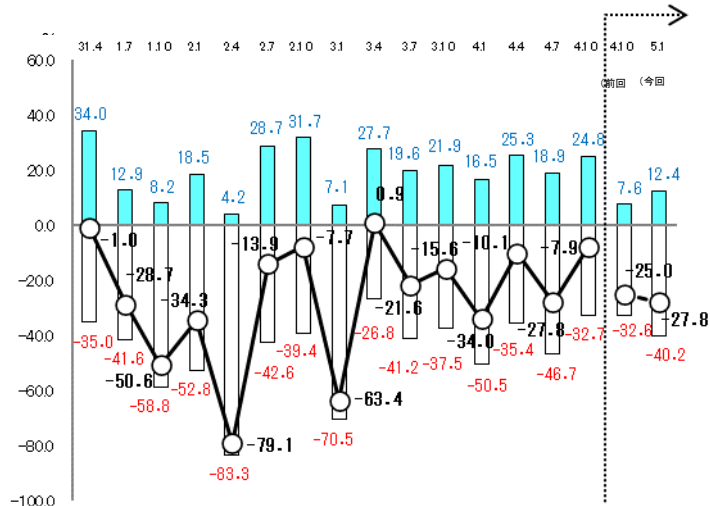


## ウ 小売業

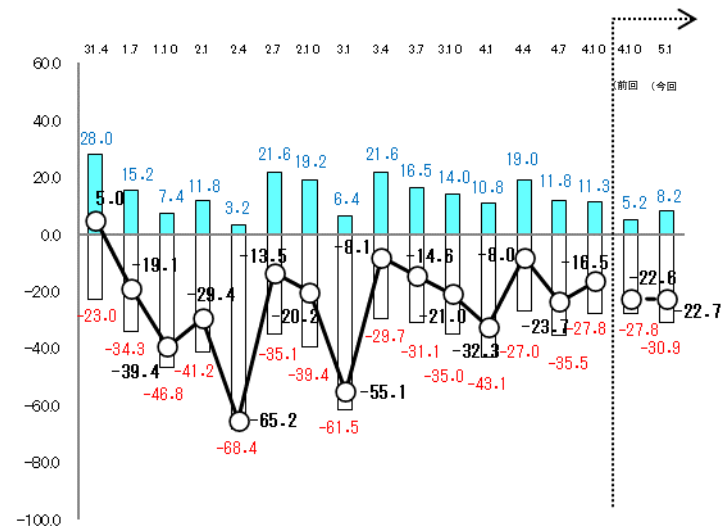
### 業況



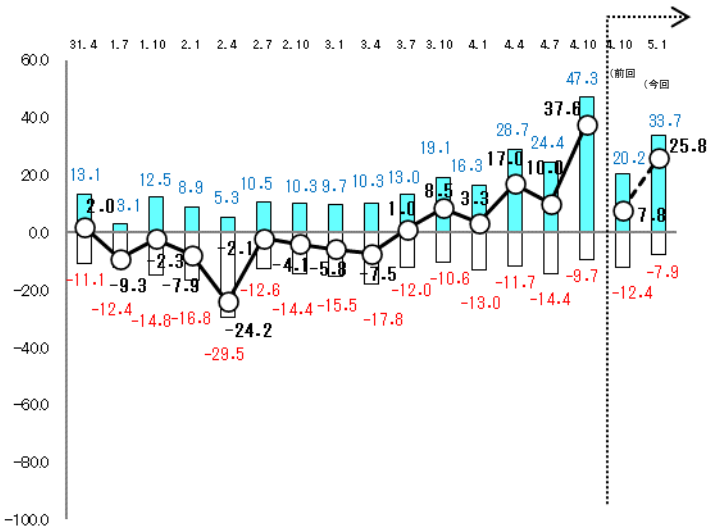
### 売上高



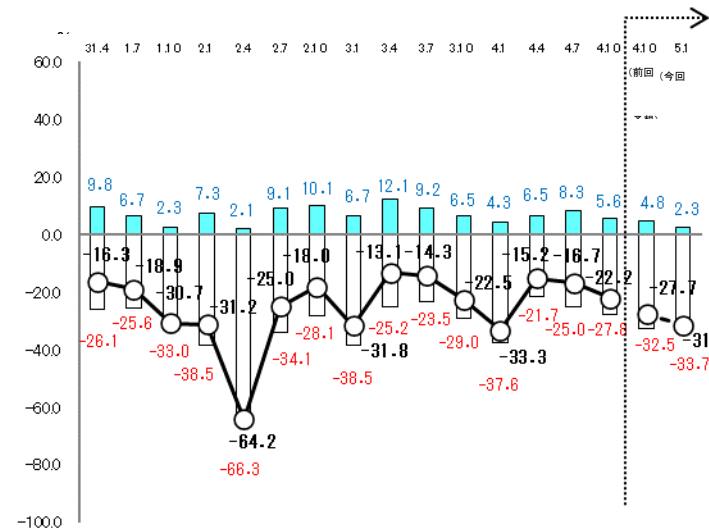
### 客数



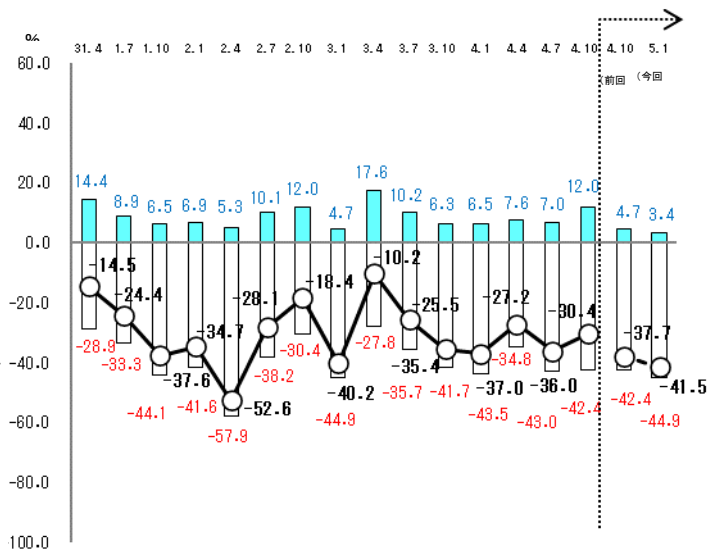
### 販売価格



### 資金繰り

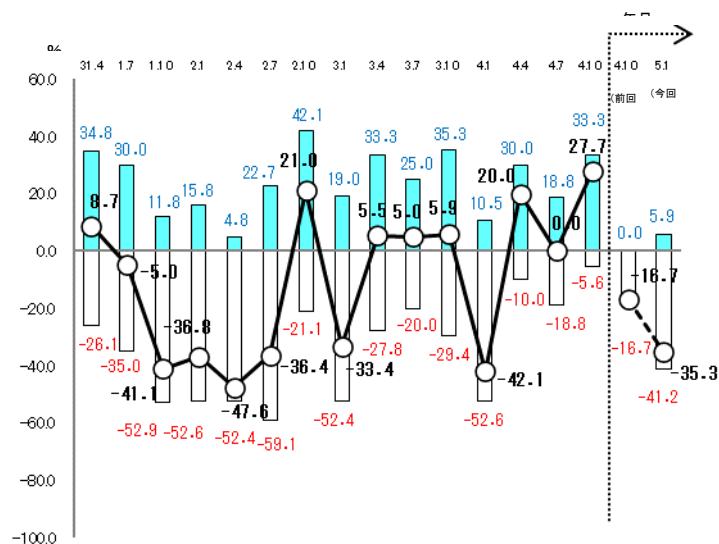


### 収益率

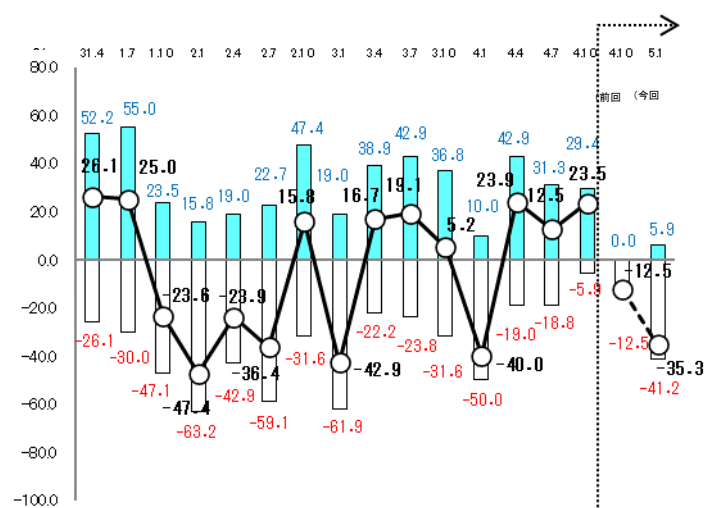


## 工 卸売業

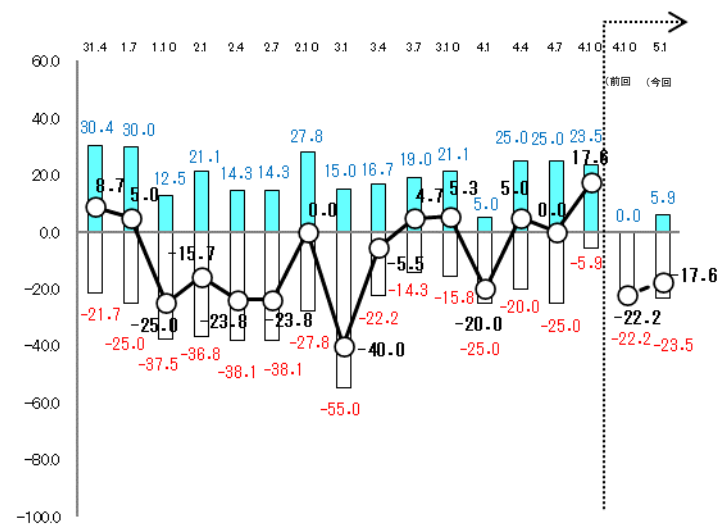
### 業況



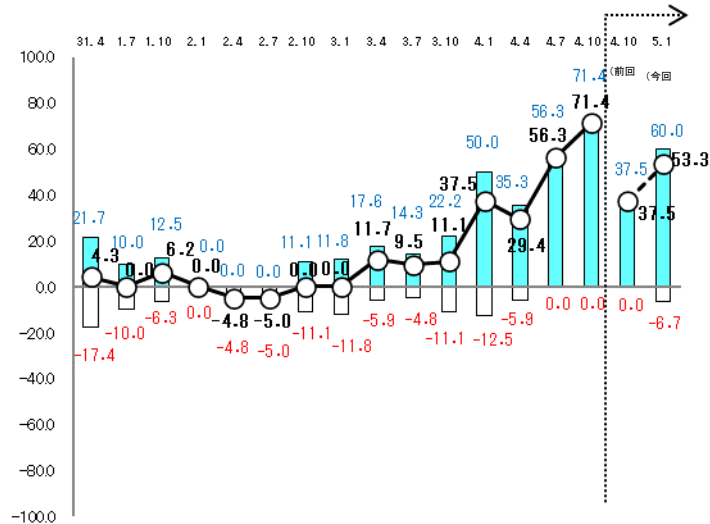
### 売上高



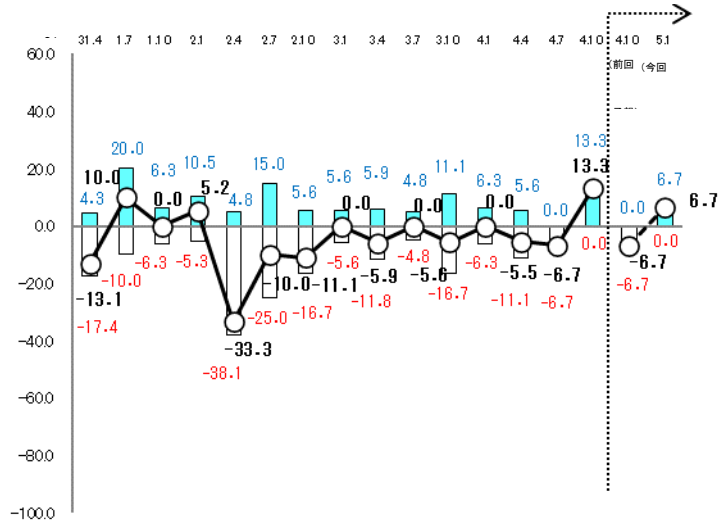
### 客数 (取引先数)



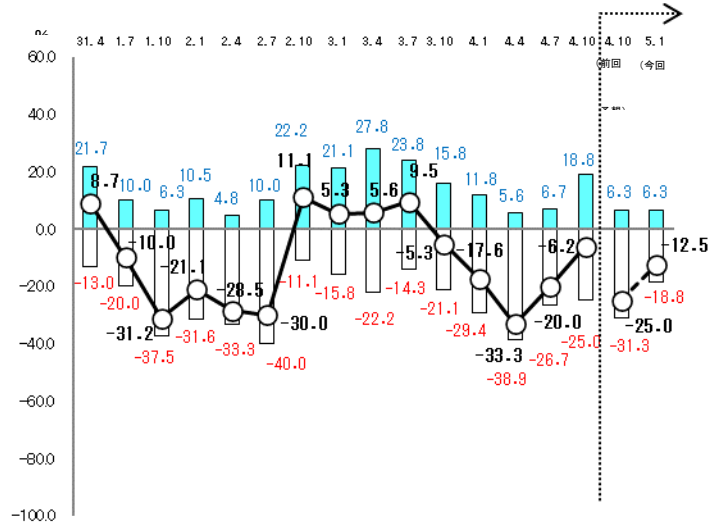
### 販売価格



### 資金繰り

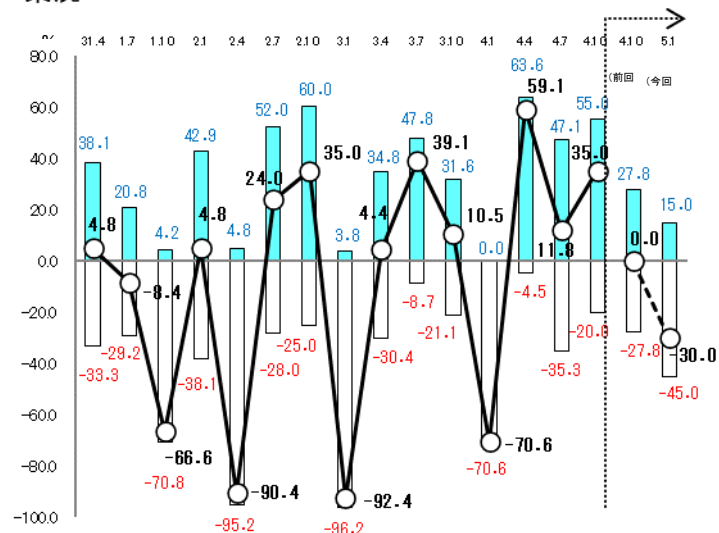


### 収益率

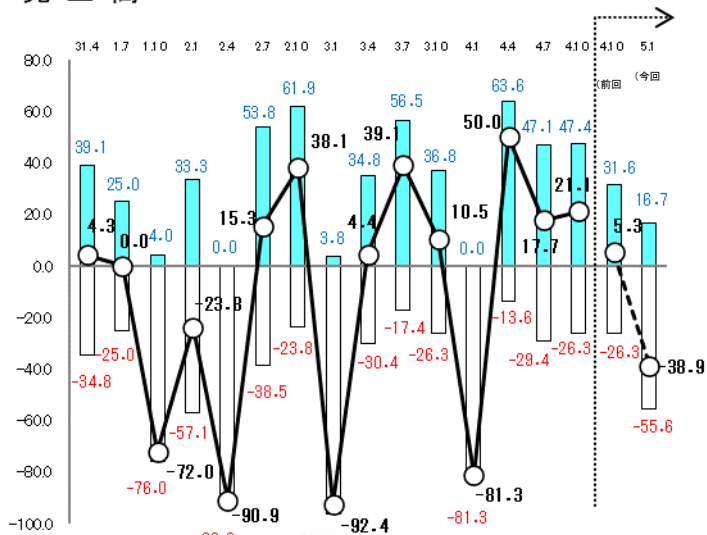


# 才 飲食業

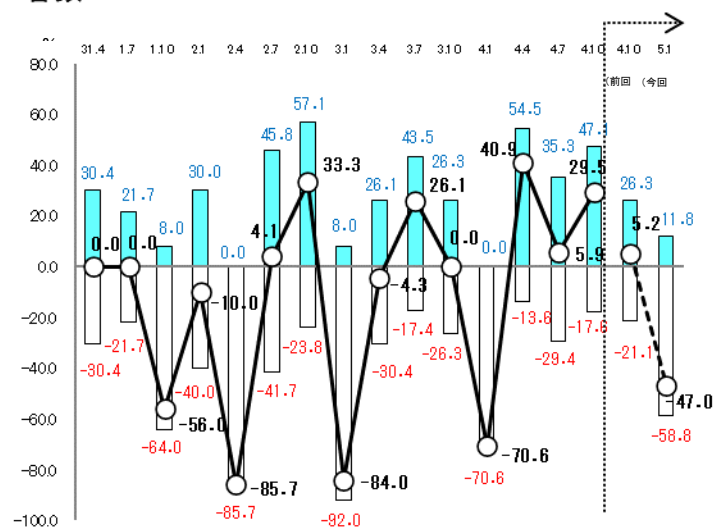
## 業況



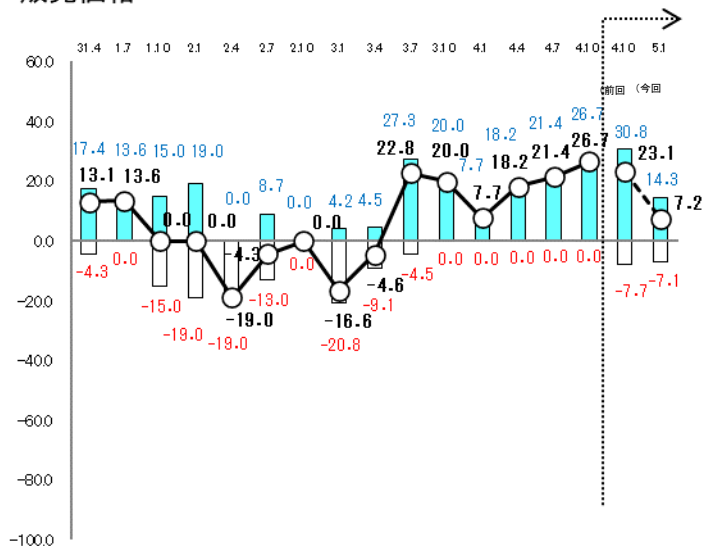
## 売上高



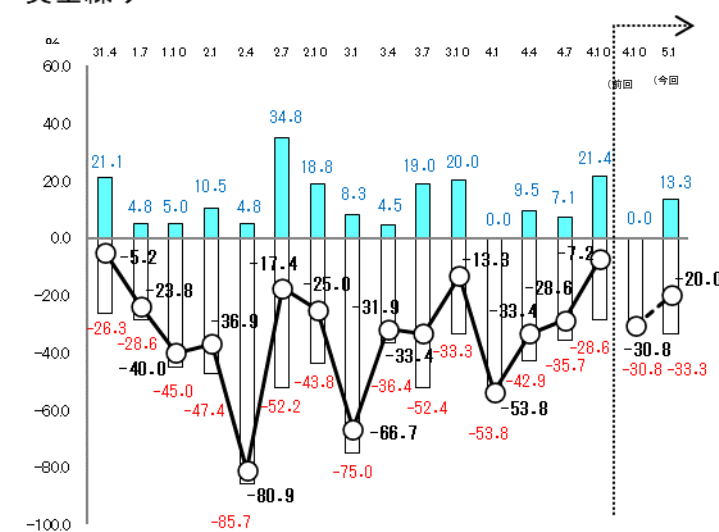
## 客数



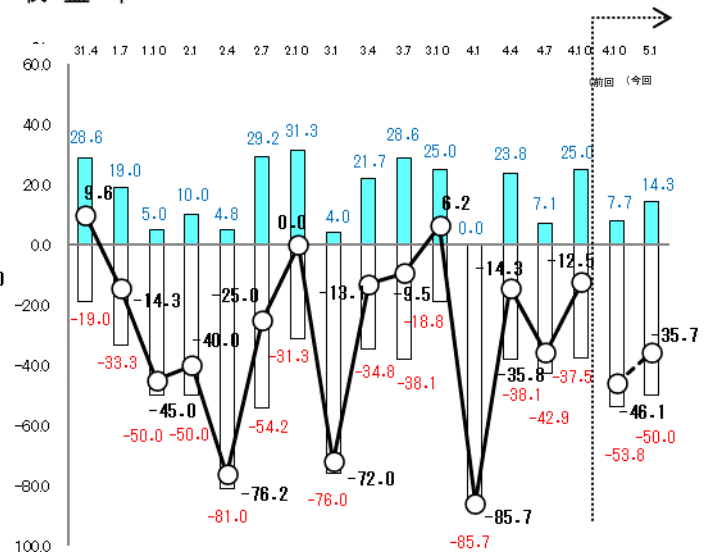
## 販売価格



## 資金繰り



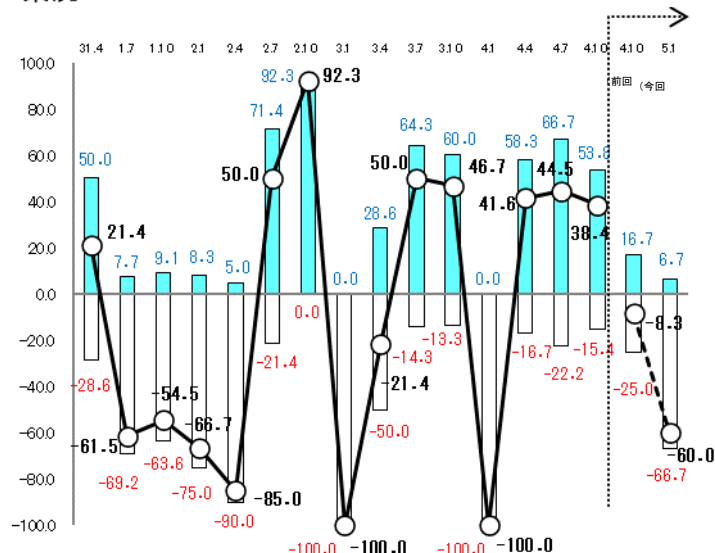
## 収益率



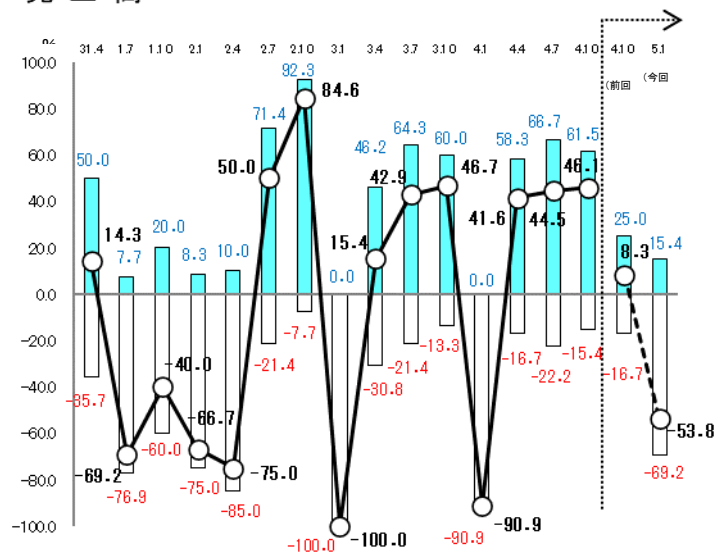


# 力 宿泊業

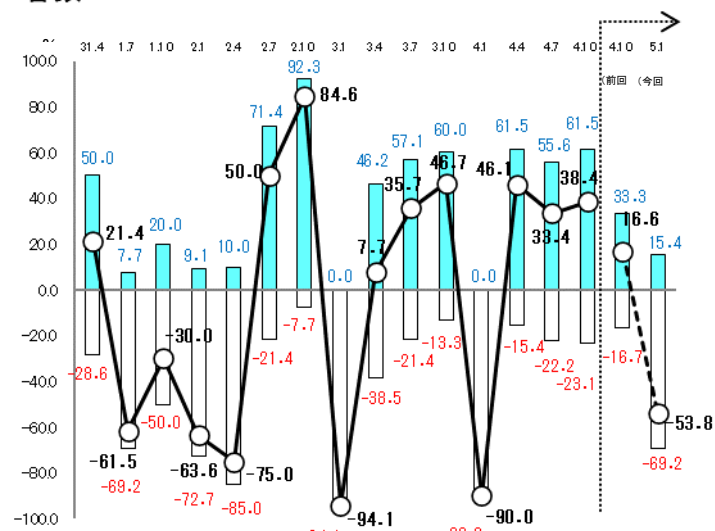
## 業況



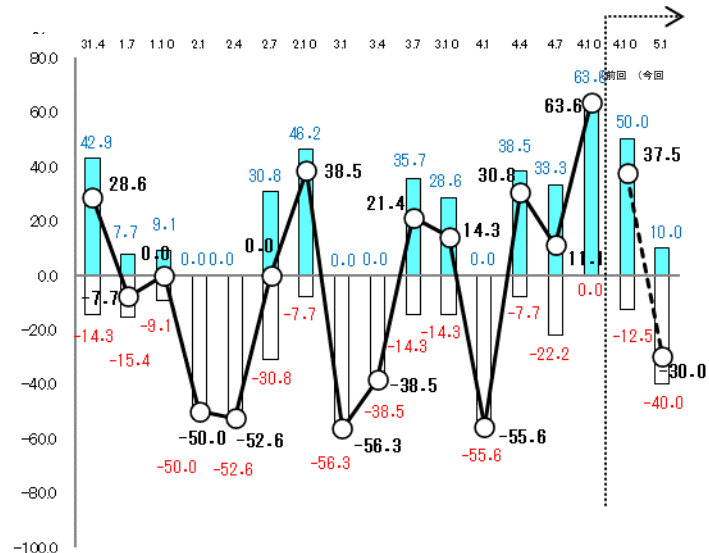
## 売上高



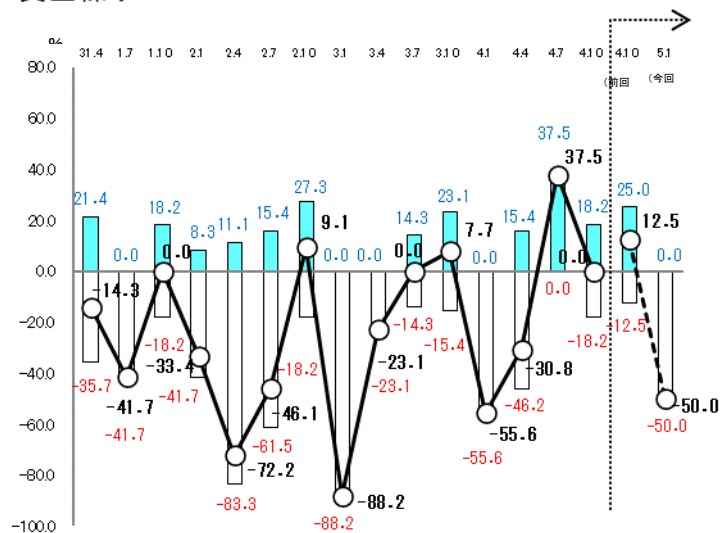
## 客数



## 販売価格



## 資金繰り



## 収益率

